

令和4年度 食育推進事業実施状況（令和5年3月末現在）  
 《基本目標》 食べる力をみんなでアップ！ ～みんなでおいしく楽しく食べよう～

参考資料

推進団体	ページ数
一般社団法人仙台市医師会	1
一般社団法人仙台歯科医師会	2
公益社団法人宮城県栄養士会	4
仙台市小学校長会	6
仙台市私立幼稚園連合会	8
仙台市保育所連合会	9
仙台市PTA協議会	10
宮城県生活協同組合連合会	11
みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）	16
仙台農業協同組合	17
仙台白百合女子大学	18
宮城大学	19
仙台市市民局	20
仙台市子供未来局	21
仙台市環境局	25
仙台市経済局	26
仙台市教育局	29
仙台市健康福祉局・各区保健福祉センター，総合支所	31

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市立学校健診 糖尿病精密検査 生活習慣病検査 貧血検査	小・中学生	・学童を対象とした各健診後、児童・生徒及び保護者に対して、校医、専門医による食の改善、運動等事後指導を実施する。また、円滑に指導等ができるよう関係者と連携を図る。	糖尿病精密検査 6/23～6/28 生活習慣病検査 10/17～10/20 貧血検査 8/29～10/14	糖尿病精密検査実績 40名 生活習慣病検査実績 225名 貧血検査実績 814名	仙台市医師会

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギーへの対応事業	保育士、栄養士、教諭等	・食物アレルギー対応の手引き（改訂版）を活用し、指導・助言を行う。	通年		仙台市医師会

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊婦健診事業	妊婦健診受診者	・妊婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症候群、妊娠糖尿病などの異常を早期発見し、妊娠期間中の食事指導などを行う。また、支援が必要な妊婦については行政と連携し積極的に指導する。	通年	妊婦健診実績 延べ 77,033名	仙台市医師会
2	産婦健診事業	産婦健診受診者	・産婦健診の中で貧血や妊娠高血圧症、妊娠糖尿病などの産婦に直後の食事指導などを行う。また、支援が必要な産婦については、行政を連携し積極的に指導する。	通年	産婦健診実績 延べ 11,573名	仙台市医師会
3	乳幼児健診事業	乳幼児健診受診者	・乳児健診（2か月、4～5か月、8～9か月）、1歳6か月児、3歳児健診において、乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施する。	通年	乳児健診実績 20,822名 1,6、3歳児健診実績 1,6歳→7,593名 3歳 →7,971名	仙台市医師会

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定健診・特定保健指導事業	一般市民	・特定健診、基礎健診における問診や結果に応じて、生活習慣病等の「疾患に関する判定」「メタボリックシンドロームに関する判定」及び「特定保健指導に関する判定」を行い、保健指導により個々の生活習慣改善の行動目標を設定（身体活動量・食事バランス）し、健康的な生活習慣を身に付けられるよう、引き続き登録医療機関で指導する。また、検査項目の一つ血清尿酸は、動脈硬化・脳卒中・心臓病・腎臓病の危険因子であり、肥満との関連性もあることから、各種疾病の早期発見・早期治療に引き続き努めたい。	令和4年6月～令和5年3月	特定健診実績 60,540名 *市国保 基礎健診実績 44,823名  動機づけ支援実績 579名（見込）	仙台市医師会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民向け冊子の配布	一般市民	・冊子名：スマイル（食の大切さや、より良い食事に関する啓発）	通年	内容の検討を行い、令和5年度と合わせて発行予定	仙台歯科医師会
2	歯と口の健康週間市民のつどいWEB開催	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師会と各関係団体が連携して実施</li> <li>・コロナ禍でのニューノーマルを考慮してWEB開催</li> <li>・むし歯・歯周病予防のための生活習慣</li> <li>・健康長寿のための食生活とお口の働き</li> <li>・市内小中学校での取り組みの紹介 など</li> </ul>	6月4日から10月30日までサイトの公開 <a href="https://s-da.or.jp/shimintudoi">https://s-da.or.jp/shimintudoi</a>	アクセス数 1,913 （令和4年6月～令和5年1月）	市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、子供未来局、教育局、他）
		聴覚支援を必要とする幼児とその保護者【新規】	仙台市歯と口の健康週間「市民のつどい」の一環で、『パワー全開！スリースター 歯は大切な巻』手話通訳バージョンを作成し仙台市内特別支援学校等に配布し、お口の健康と食育をわかりやすく人形劇で紹介	仙台市歯と口の健康週間市民のつどいサイトへのアップロードと聴覚支援学校へのDVD配布	仙台市内の支援学校10校へ配布 宮城県聴覚支援学校へ訪問しDVD50枚贈呈	

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし、幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校・幼稚園・保育所での講話	児童・職員	・歯科校医、園医、嘱託医による講話などでの食事指導	通年	例年とおり	仙台歯科医師会 子供未来局 教育局
2	支援学校での摂食指導	児童・保護者・職員	・鶴谷特別支援学校、県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	通年で3回を予定	例年とおり	仙台歯科医師会 教育局
3	仙台市PTAフェスティバルへの参加	児童・保護者	・健康的な食生活について啓発	未定	実施なし	仙台歯科医師会 東北大学 健康福祉局
4	フッ化物歯面塗布助成事業	乳幼児	乳幼児期からの正しい食習慣の確立への啓発	通年	受診者数 3,240名	仙台歯科医師会 子供未来局
5	手話の表現をつけたむし歯予防啓発DVD作成と配布 《①-A-1 再掲》	聴覚支援を必要とする幼児とその保護者	仙台市歯と口の健康週間「市民のつどい」の一環で、『パワー全開！スリースター 歯は大切な巻』手話通訳バージョンを作成し仙台市内特別支援学校等に配布し、お口の健康と食育をわかりやすく人形劇で紹介	仙台市歯と口の健康週間市民のつどいサイトへのアップロードと聴覚支援学校へのDVD配布	仙台市内の支援学校10校へ配布 宮城県聴覚支援学校へ訪問しDVD50枚贈呈	仙台歯科医師会 健康福祉局

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます						
具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	口腔機能低下症に関する学術講演	歯科医師及び関連職種	・オーラルフレイルに対応する「口腔機能低下症」に対する学術講演		令和4年度未実施	仙台歯科医師会
		一般市民（高齢者）	・オーラルフレイルに対応する「口腔機能低下症」に対する学術講演	11月17日幸町市民センター(1回)	参加人数 30名	仙台歯科医師会 幸町市民センター
		要介護者・障害児・者の口腔ケア支援者	・要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修会 一人ひとりの豊かな生活につなげる口腔ケア支援～訪問歯科衛生士の立場から～	10月29日YouTubeにて生配信及び開催日含む3日間動画配信		宮城県歯科医師会
2	元気カアップフェスティバル！への参加	一般市民	・各関係団体が連携して実施 ・お口の健康チェック及び歯と口の健康相談	11月6日仙台シルバーセンター	全体 1,503名 歯科関係ブース 82名	地域包括ケア推進課 シルバーセンター
取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間市民のつどいWEB開催 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と各関係団体が連携して実施 ・コロナ禍でのニューノーマルを考慮してWEB開催 ・むし歯・歯周病予防のための生活習慣 ・健康長寿のための食生活とお口の働き ・市内小中学校での取り組みの紹介 など	6月4日から10月30日までサイトの公開 <a href="https://s-da.or.jp/shimintudoi">https://s-da.or.jp/shimintudoi</a>	アクセス数 1,913 (令和4年6月～令和5年1月)	市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、子供未来局、教育局、他）
		聴覚支援を必要とする幼児とその保護者【新規】	仙台市歯と口の健康週間「市民のつどい」の一環で、『パワー全開！スリースター 歯は大切な巻』手話通訳バージョンを作成し仙台市内特別支援学校等に配布し、お口の健康と食育をわかりやすく人形劇で紹介	仙台市歯と口の健康週間市民のつどいサイトへのアップロードと聴覚支援学校へのDVD配布	仙台市内の支援学校10校へ配布 宮城県聴覚支援学校へ訪問しDVD50枚贈呈	
取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます						
具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域住民への啓発活動	一般市民	・各区民まつり等での食に対する啓発	10月16日みやぎの・まつり	歯とお口の健康相談実施	仙台歯科医師会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施する市民のつどいにて、食の大切さについて啓発（今年度は対象者を子供達とする。「元氣っ子に大切な栄養ってなーに？」動画公開）	6月4日web開催 （動画配信）		市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、子供未来局、他）
取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施する市民のつどいにて、食の大切さについて啓発（今年度は対象者を子供達とする。「元氣っ子に大切な栄養ってなーに？」動画公開）	6月4日web開催 （動画配信）		市民のつどい実行委員会（仙台歯科医師会、宮城県栄養士会、健康福祉局、子供未来局、他）
2	いい日いい汗栄養まつり	一般市民	・健康づくり関係団体と連携し、最新の健康・栄養情報を食事診断、健康・栄養相談、栄養講話等、実際の体験を通じて普及啓発 ・生活習慣病予防、フレイル予防のリーフレットを県民・市民に配布（宮城県栄養士会 会員全員から公募）	R5年2月に配布		宮城県栄養士会
3	健康づくり公開講座	一般市民	・最新の健康・栄養情報を、調理実習も加えて普及・啓発する。	8回 6/16.11/17高森男性料理サークル 7/19 国見がたくりの会 9/7 泉中央老人福祉センター 5/22 ポリオの会 7/28.9/22.11/18 大野田老人福祉センター	参加者 135名	宮城県栄養士会
4	仙台市介護予防月間	一般市民	元氣カアップフェスティバル	11月6日	栄養相談 30名	シルバーセンター 宮城県栄養士会
5	栄養ケア・ステーションにおける栄養指導・講演会等への講師派遣	一般市民	フレイル予防のための栄養について	5/31.6/14.6/28.7/12.7/26 花京院包括支援センター 6/29 大野田老人福祉センター 7/20 上杉包括支援センター 7/20.9/22 虹ヶ丘包括支援センター	参加者174名	宮城県栄養士会
6	マスコミや執筆による情報提供	一般市民	・栄養相談（げんき倶楽部「杜人」の質問回答など）や、食の情報提供など	通年		宮城県栄養士会
7	宮城県ケアフェスタ	一般市民	宮城県ケアフェスタ	今年度実施なし		宮城県栄養士会 宮城県

令和4年度 食育推進事業実施状況（令和5年3月末現在）

（公社）宮城県栄養士会

8	食材王国みやぎ伝え人	児童とその親	・身近な食材を使用した子供でも作れるメニューでの調理実習	今年度実施なし		宮城県栄養士会
9	子育て応援団すこやか2023	一般市民	・ミヤテレ主催 食育に関する案件 離乳食・幼児食相談、ゲーム、塗り絵など	10/22、10/23	参加者 140名	宮城県栄養士会 ミヤギテレビ
10	地域包括ケアシステム協働プロジェクト	一般市民	・はればれ健康フェスタへの参加 フレイル予防動画	9月11日	300名（Web）	柔道整復師会 宮城県栄養士会
具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	いい日いい汗栄養まつり 〈再掲①-F-1〉	一般市民（県民）	・宮城県栄養士会全会員から公募し、生活習慣病予防、フレイル予防のリーフレットを作成、各区役所や関係施設等に配布し、健康増進の一環とする	2月末 各区役所、施設に配布		宮城県栄養士会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう						
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-4 学校での様々な活動において『食に関する指導』を充実させます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の作成及び見直し	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>「食に関する指導の手引き」の改訂に伴い、「食に関する指導の全体計画」及び「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の見直しを図り、各教科や特別活動及び学校の教育活動全体を通して食育を展開する。</li> <li>食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための教育活動を工夫し、実践する。</li> </ul>	通年 各学校において適宜指導を振り返り、改訂を踏まえた指導計画の見直しを図る。 教育活動全体での食育推進を目指す。		小・中学校 教育局
2	給食の時間における食に関する指導の充実	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食時間をはじめ、食に関連する教科・諸行事等において、学年学級の実態に応じて、各学年学級担任を中心に、栄養教諭・学校栄養職員の参画にて食に関する指導を行う。</li> <li>「食育の日」、「食育月間」の普及・啓発を行う。</li> <li>宮城、仙台産などの地元の農産物や郷土食を活用した給食で、食育を推進する。</li> </ul>	通年 指導計画を基に、児童・生徒の実態に応じた食育を推進する。		小・中学校 教育局
3	「給食週間」	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童、生徒を中心に内容を工夫して、給食に感謝する催しを開催する。</li> </ul>	1月 児童・生徒の主体性を大切に各学校の特色を生かして行う。		小・中学校 教育局
具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表や給食だよりによる啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>献立表や給食だよりなどを通じた食育活動の周知をする。</li> <li>食物アレルギーへの対応（個別面談等含）について周知し、個別に詳細献立表を家庭に配布する。</li> </ul>	個別面談：年度初めに実施 献立表等：月ごとに実施、詳細献立表（アレルギー対応）配布		小・中学校 教育局
2	「望ましい食習慣形成」の呼びかけ	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者懇談会や給食試食会、PTA行事などを利用して、望ましい食習慣の形成、食を通じたコミュニケーションの促進を図る。</li> </ul>	通年 養護教諭と共に健康教育の一環として実施		小・中学校 仙台市PTA協議会 教育局
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食育」の実践研究	教諭・栄養教諭・学校栄養職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙台市小学校教育研究会学校給食部会の取り組みとして、研究主題「食を大切にする心をはぐくみ、健全な心身を培う食育の推進」を掲げ、活動を休止せざるを得なかったこの2年間の各学校の事例を共有するとともにアーカイブ化する。</li> </ul>	通年 仙台市を7つの地区に分け、地区毎に学校の取組の工夫を共有する。 →感染予防対策に留意し、なるべく集合形式で活動予定。状況によりオンライン。	<b>〇6/1 全体会1</b> 80名参加 会場：七郷小学校体育館 ・活動方針と内容の確認 ・講話「コロナ下の取組の意義」 市教委健康教育課指導主事 <b>〇7~10月 各校で取組の整理</b> 89/119校から提出 <b>〇11/9 全体会2</b> 計75名参加 会場：郡山小学校体育館（南部） 幸町小学校体育館（北部） ・コロナ下2年の各校の取組（情報交換） <b>〇2/8 全体会3</b> 67名参加 会場：岩切小学校体育館 ・コロナ下2年の各校の取組（地区代表校 情報提供） ・講話「withコロナの取組の方向」 市教委健康教育課指導主事	小学校 （仙台市小学校教育研究会学校給食部会）

2	学校給食の充実・発展のための研修	栄養教諭・学校栄養職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会の中の、栄養教諭・学校栄養職員部会において、学校における食育の推進に向けて、児童生徒に対する食に関する指導の在り方や学校給食の充実について研究協議し、栄養教諭・学校栄養職員の資質向上を図る。</li> </ul>	<p>通年 年間の研修計画を立て、定期的に研修会を開催する。 →感染予防対策に留意し、オンラインや書面、集合形式で活動予定</p>	<p>開催方法：すべてオンライン  <b>〇5/11 研修会</b> 80名参加  <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区活動の計画作成</li> </ul> <b>〇8/2 県栄養教諭・学校栄養職員研究会第2回研修会</b> 101名参加  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した食に関する指導の研究授業発表及び実践事例発表</li> </ul> <b>〇10/6 施設見学1</b> 56名参加  <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食パン工場の見学</li> </ul> <b>〇10/7 施設見学2</b> 66名参加  <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小学校2校の給食施設の見学</li> </ul> <b>〇10/20 講演会</b> 65名参加  <ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関する指導におけるICT活用 武庫川女子大学 藤本勇二氏</li> </ul> </p>	<p>小・中学校 (仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会)</p>
---	------------------	-------------	---	---	--	--



推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食べるのが楽しくなる食育	園児（年長児）	<ul style="list-style-type: none"> <li>年長児のみが育てられる二十日大根という栽培物に特別感を持ってお話をし、生長を楽しみにする。</li> <li>種まきから収穫までを経験することで、栽培することの大変さを感じたり、責任を持って育てることで、野菜を身近に感じられるようにしていく。</li> <li>4種類のミニトマトの栽培、収穫、実食</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期から2学期にかけて</li> <li>水やりは毎日。二十日大根の収穫、調理、実食は1回。ミニトマトの収穫、実食は数回。</li> </ul>	年長児54名（みやぎ幼稚園） <ul style="list-style-type: none"> <li>二十日大根はお世話したのち、収穫した大根を手で触ったり、匂いを嗅いだり、目で見たりしながら観察を行った。子供達と相談し、味噌汁にして食べることに決めた。大根の葉っぱを自分達でちぎって調理に携わり、給食の日にクラスごとに食べた。栽培から調理まで五感を使って楽しむことができた。</li> <li>ミニトマトは種類によって収穫の時期が異なったが、朝の自由遊び時等に熟したものを収穫し、年長組のお楽しみ会でお弁当時に食べた。種類によって味の違いを感じている子も見られた。その後は預かり保育の際など、定期的に収穫し、他学年にもおすそ分けした。</li> </ul>	幼稚園 私立幼稚園連合会 (みやぎ幼稚園)
		園児（年長児）	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月に行うお泊り保育に向けて、カレーを作ることを話し合い、じゃがいもを育てる。</li> <li>『じゃがいも』の絵本を読み、じゃがいもが土の中でどのように育つか興味を持てるよう水栽培を行い、根っこを観察できるようにする。</li> <li>お泊り保育前に収穫予定。お泊り当日に調理体験（皮むき、切る）をし、楽しく喜んで食すことができるようにする。</li> <li>冬に向けて、子供達の話し合いの結果、大根・ネギ・ほうれん草を新たに育てる。コロナの影響で、調理体験を控えていたので、今回は年長になって初めて収穫後に大根・ネギ・ほうれん草を包丁で切る体験も行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1学期から3学期にかけて通年</li> </ul>	年長児76名（めるへの森幼稚園） <ul style="list-style-type: none"> <li>ジャガイモを収穫し、水栽培していたジャガイモとの違いなどを観察した。お泊り保育でカレーになる予定のジャガイモだったが、お泊り保育がコロナの影響で急遽中止となったため、子供達と相談し、ジャガイモをフライドポテトにし、ジャガイモ本来の味を味わった。</li> <li>二学期に入り今度は冬野菜を育てるため、何を育てるかクラスで相談し決めることに。植える時期や収穫時期を図鑑や家庭で調べて話し合いの結果、大根、ネギ、ほうれん草に決定し、現在栽培中。</li> <li>1クラスは大根とネギで味噌汁を、1クラスは大根とクリームシチューを美食。今年度初めて「切る」という体験をし、形は様々だったが、育てた野菜に愛着を持ち楽しんで調理することができた。</li> </ul>	幼稚園 私立幼稚園連合会 (めるへの森幼稚園)

**推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう**

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所入所児童家庭	・保育所の給食試食会を通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。	通年		保育所 保育所連合会 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・保育所連合会栄養士研修で乳幼児の発育・発達と食行動についての理解を深め、施設での実践に繋げる。 ・栄養士研究委員会にてテーマを設けて研究・発表する。	10月12日	参加者数182名	保育所連合会 子供未来局
2	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	・講義を通して、保育施設の食育について学ぶ	8月30日	参加者数150名	保育所連合会 子供未来局
3	保育所連合会給食会研究委員会	栄養士	・研究テーマを設け、乳幼児の食育に関する研究・発表に取り組む。	通年	R4年度は「魚をもっと食べよう」～豊かな食生活をめざして～をテーマとして調査・研究を実施。連合会全保育所等施設の子ども、保護者向けにレシピ集を発行。 16,170部	保育所連合会 子供未来局

**推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう**

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等給食における食文化の継承	保育所等入所児童と保護者	・給食の献立に、行事食や郷土料理を提供することを通じて、地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。当日のレシピ配付や掲示等で、保護者へも知らせる。	通年		保育所連合会 子供未来局

**推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう**

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子料理教室等の開催</li> <li>・給食試食会</li> <li>・栄養士さんの講話</li> <li>・ミニ菜園づくり など</li> </ul>	通年		仙台市PTA協議会

**推進の柱③ 地産地消をすすめよう**

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域行事での食育	小・中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田植えや収穫などの農業体験活動</li> </ul>	通年		仙台市PTA協議会

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	はやね・はやおき・あさごはん運動の推奨	一般市民	店舗セールチラシで朝食レシピ提案を行う。	年3回（4月7日、8月25日、1月9日）		宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
具体的な取り組み ①-A-3 キャンペーンやコンテストなどにより、市民の食育活動への参加を促します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	あいごはんアイデア募集	組合員	組合員から寄せられたあいごらんど商品を使ったアイデアを募集し、ホームページで紹介する。	通年	19件の応募	宮城県生活協同組合連合会（あいこープみやぎ）
2	おにぎり総選挙	一般市民	「週にお茶碗もう一杯」の取り組みとして実施。9種類のレシピから投票でグランプリを決め、上位のおにぎりを期間限定で店舗で販売。投票者の中から抽選で20名に「めぐみ野米&ごはんのおとも」をプレゼント。	11月7日～12月20日	6,459票の投票	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活アンケートの実施と課題推進委員会の開催	大学生	・コロナ禍で変化した学生の食生活についての実態調査を実施。 ・東北地区の大学生協で組織活動に取り組んでいる学生が集まり、大学生の食生活について考え、大学生協の食育推進をどうするか検討した。	6月と7月に実施	東北の13の大学生協から2113名分のアンケートを回収している。	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学習会	子育て世代の親	予定なし	今年度予定なし	開催なし	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	離乳食・栄養相談会	子育て世代の親	開催時間内なら出入り自由、参加費無料、申込不要のみやぎ生協の「子育てひろば（親と未就園児対象）」内で、管理栄養士が参加者に個別で話しを聞き、離乳食の進め方や栄養などについての悩みに回答。	①2/15・②3/14	9人（①5人・②4人）	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します						
具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ミールプラン推進	大学生	新型コロナウイルス感染症の影響により、食堂内での飲食が制限される事態がありました。食堂の利用定期券としてお買い上げいただいたミールカードで、購買店舗内の食品もお買い上げいただけるように変更し、自宅安心してお召し上がりいただける環境を作りました。	利用は年間。プラン作成、販促は下期より	東北の13の大学生協から2113名分のアンケートを回収している。	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学習会【新規】	一般市民	①毎日の食事から健やかな体作りめざす学習会「食事で新時代を乗り切ろう！」を9月12日に開催。 ②オーラルフレイル予防の学習会「食べることは生きること～口と歯は生涯の伴侶、プロと手を組んで守りましょう～」を1月12日に開催。	①9月12日 ②1月12日	①9月12日：138人参加 ②1月12日：134人参加	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学習会【新規】	一般市民（成人）	・BDHQ（brief-type self-administered diet history questionnaire 簡易型自記式食事歴法質問票）を用いた7回連続講座を開講。BDHQの説明、結果の読み解き方、栄養士による料理教室（見学）、運動など。上記①-E-1の2つの学習会参加も講座に含める。	①8/26 ②9/2 ③9/12 ④10/12 ⑤11/2 ⑥1/12 ⑦2/22	15名参加 食習慣分析と体質改善に向けた具体的なアドバイスを得て、食習慣改善の成果をあげる参加者が多かった。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館などの連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活提案の展開	組合員	みやぎ生協は「食」をだいに健康づくりをすすめます。食生活提案をすすめる4つの基本テーマに沿った「みやぎ生協の食生活提案」を広めます。実践として、「日本型食生活の料理教室」を実施します。	今年度予定なし	実施なし	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食育活動委員会の活動	組合員	食育に興味のあるメンバーが登録する「食育活動委員会」委員を募集し、みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学び、メンバーに情報発信します。	年10回（4月～翌3月）	12人（累計86人）	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子料理教室・大人のお魚教室開催	親子・成人	食育NPOおむすび・株式会社仙台水産と共催し、『さばいて作る「大人のお魚教室」～手軽に楽しむ旬のお魚クッキング』を開催。魚のさばき方やおいしい食べ方について、魚のプロから楽しく学ぶ。毎回、募集を超える申し込みをいただいている。	年4回（10/15・11/18・1/27・3/18）	①10/15はらこ飯15人・②11/18サンマご飯11人・③1/27焼きサバ寿司13人・④3/18ぶっくらアジフライ15人	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	料理教室の開催		・子供たちの豊かな食生活と健康のために、「あいぶらんど商品」をはじめとしたあいコープの食材を活用した試食会、料理教室を開催する。テーマ食材の生産者にも参加していただき、食の現場に学ぶ。	未定（新型コロナウイルス感染症の収束後に）	8月5日夏休み親子鍋布団料理教室5組14名参加。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	5 A DAY食育体験ツアー 5 A DAYたべるのおはなし教室	小学生 幼児（5歳児）	店舗の集会所・農産コーナーを活用して食育の授業を行う児童向け「5 A DAY食育体験ツアー」、幼児向け「5 A DAYたべるのおはなし教室」を今年度も継続開催。集会所の定員を超える場合は学校・園で座学を行い、農産コーナーを使う際に人数が多いときは店舗見学を並行して行い、密を避けて開催。	・5月～1月に宮城県内の小学校11校で開催予定。 ・6月～1月に宮城県内のこども園、保育園5校で開催予定。	・5月～1月に宮城県内の小学校14校で38回開催し1,010人が参加。 ・6月～1月に宮城県内のこども園・保育園5校で5回開催し、86人が参加。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう						
取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます						
具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	日本型食生活提案	組合員	みやぎ生協のこ〜ぶ委員会・「組合員のつどい」などで食育活動委員が講師となって伝える。	講師依頼により実施	実施なし	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-1 地産産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場商品の普及活動の実施	一般市民	・「めぐみ野」品（産直品）、「めぐみ野」米の普及活動の日を設定し、普及活動に取り組む。	6月から3月。「めぐみ野」品の普及活動は8品目15会場、「めぐみ野」米おススメ活動は年9回61会場で実施。	「めぐみ野」品の月度重点商品の普及活動はレシビを配りながら、「めぐみ野」米おススメ活動はおにぎりやノベルティを配りながら実施。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食のかたりべ活動	組合員	・食に興味のあるメンバーが登録し、「みやぎ生協の食品の安全総合政策」を通してメンバー自身が「食」について学習し、その内容を他のメンバーに伝える活動を行う	実施予定なし	実施なし	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
3	食育体験ツールの提案	一般市民	・野菜の花から野菜の名前を当てたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールや、みやぎ生協の紙芝居を提案。食育の学習教材として「みやぎの旬」カード、「大地の恵み31・海の恵み38選」を、様々な場面で活用できるよう取り組みを広げる	今までに作成したツールを継続活用する	中学校1校に貸出	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	産地見学会	組合員	・生産現場の見学を行い、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する	5月から11月に参加をこ〜ぶ委員に限り、計7回9エリアで実施	田尻のトマトやピーマン・松山のきゅうり・角田のいちご、桃、梨を見学。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食に関する学習会開催	組合員 一般市民 生産者	・食の現状や農業について生産者や専門家のお話を聞き自分たちの食生活をみなおす。	講演会2回 学習会10回	*秋のフォーラム（PB商品学習会）を7回開催しのべ64名が参加。 *11月4日日本の食は守れるか鈴木宣弘氏オンライン講演会。62名参加 *11月25日館野かえる農場のおもしろ農業話（オンラインで組合員19名参加、生産者3名が会場参加） *12月7日タネとGMO学習会オンラインで31名参加 *3月28日心が通うオーガニックの話に組合員36名参加。	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）

3	生産者訪問	組合員	・生産者を訪問し、生産現場の様子、工夫などを知り、顔の見える関係を築く。	原木椎茸産地見学（宮城） ながめやま牧場見学（山形） やっべしりんご（ネオニコフ リー栽培）見学（山形）	・8月23日無茶々園（愛媛 県）とオンラインで「ちりめん モンスター探し」（16組38 名） ・9月17日りんご園地オンラ インツアー（〇） ・11月13日ながめやま牧場オ ンライン交流会（17名）	宮城県生活協同組合 連合会（あいコーブ みやぎ）
4	地区委員会と地場生 産者のタイアップ交 流	組合員	・8地区委員会がそれぞれ地場生産者の中からタイアップ先を決め、一年を通して農作業体験を通 じて交流と学習の活動を行う。 ・秋保の圃場で、小豆の種まきから収穫、種別や加工を生産者と共に作業し種子について学ぶ。	通年	*八つの地区委員会がそれぞれ PB商品から1品を選び、生産 者に取材しながら学習資料を作 成。 *秋保でのたねまきプロジェク トには26組66名が登録し農作 業体験やイベントを6回開催。	宮城県生活協同組合 連合会（あいコーブ みやぎ）
5	Wa! わぁ祭り	組合員 生産者 一般市民	・生産者、組合員、職員が一緒になって楽しみながら交流するお祭りをオンライン企画を主体とし て実施。	10月～11月ごろ	10月3日～11月31日かけて オンライン企画（講演会4回、 映画3本配信、生産者制作の動 画配信）を展開。11月19日 （土）に会場イベントを、午前 200名、午後200名の定員を 設けて夢メッセ西館展示場で開 催。午前午後合計で313名が 来場。クイズやゲーム、鮮魚捌 きの実演、縄ない体験などで生 産者や生産物について学んだ。	宮城県生活協同組合 連合会（あいコーブ みやぎ）

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生協と生活者が一緒 に稲を育てる	一般市民	①メンバーが家庭で育てる「バケツ稲栽培コンテスト」を実施し、メンバー自身が自分で稲を育て る体験をする。17店舗で開催。 ②丸森町の田んぼで田植え・生き物調査・稲刈りを体験する「田んぼの学校」を開催。1回ごとと参 加できる。 ③大崎市田尻で田植え、野菜作り、味噌作りなどを8回に渡って行う「わが家の味噌作り&旬の野 菜作り」を開催。連続参加企画。	①稲の配布を5月29日、コン テストを10月16日に実施。 ②5月15日、6月12日、10月 9日に実施。 ③5月23日田植え、6月13日 生き物調査、7月25日農作業 体験、8月22日草取り・大根 の種まき・白菜の定植、10月 3日稲刈り、11月14日大豆・ 大根・白菜の収穫、12月12日 鏡餅作り、1月から2月の中3 回で味噌作り。	①425世帯参加。 ②5月15日16世帯62人、6月 12日12世帯44人、10月9日 16世帯54人が参加。 ③23世帯が参加。5・7・ 8・10月は天候不良のため中 止。	宮城県生活協同組合 連合会（みやぎ生 協）
2	JAみやぎ仙南「め ぐみ野」ねぎ収穫体 験	メンバー家族	ねぎ圃場でねぎの抜き取りの収穫体験を行いながら生産者と交流	11月か12月に開催予定	11月か12月に開催予定だっ たが、ねぎの生育が悪く今年は実 施なし。	宮城県生活協同組合 連合会（みやぎ生 協）
3	農業体験の実施	組合員の親子	・あいコーブの交流田は、「えんのう」の皆さんに田植え、草取りをしてもらい、生産者に管理し ていただく。実りの秋には稲刈りをします。（田んぼに行こう企画） ・年間登録のメンバーによりあいコーブの体験圃場でさつまいも、落花生。秋大根の栽培を体験す る。（畑に行こう企画） ・はさま自然村の生産者による指導の下、バケツで稲を育てる取り組み。（バケツ稲選手権） ・産直産地の依頼を受けて援農活動を行う産地応援し隊を立ち上げ。	田んぼに行こう～大郷6回、七 郷5回 畑に行こう～年1回 バケツ稲選手権～2回	田んぼに行こう～10組29名が 登録し大郷無農薬交流田で6回 開催。 無農薬米にトライ～10組36名 が登録し七郷交流田で5回開 催。 畑に行こう（さつま芋収穫）～ 七郷交流圃場で1回開催、4組 13名参加。 バケツ稲選手権～19組41名参 加、苗の配布、産地見学、脱穀 で3回の対面開催。 産地応援し隊、登録34名。24 回の援農活動を行った。	宮城県生活協同組合 連合会（あいコーブ みやぎ）

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場の原料を使用した加工品の開発	一般市民	・宮城県産品を利用したの商品開発を継続して行う ・東北地方の震災復興と地域振興を目的に立ち上げた新ブランド「古今東北（ここんとうほく）」は東北6県からえりすぐりの食材、加工品など開発・発売。	商品開発・販売の継続。	2022年度末現在で257品目。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱④ 環境を意識した食の取り組みをすすめよう

取り組みの方向性 ④-A 食品ロス削減の取り組みをすすめ、市民の実践につなげます

具体的な取り組み ④-A-2 フードバンクの取り組みをすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	コープフードバンク	一般市民	お取引先の食品企業等から余剰食品の無償提供を受け、社会福祉に寄与する団体・組織等へ無償で提供することを通して、食品の無駄をなくすとともに、だれもが安心して暮らせる地域社会づくりをすすめる。	通年	2021年度法人サポーター95団体、個人サポーター1,161人 企業などからの受け入れ量118トン、施設・団体への提	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ

取り組みの方向性 ⑤-B 食品表示の知識を普及し、食品の選択への活用をすすめます

具体的な取り組み ⑤-B-1 食品表示の知識を広く発信し、活用法を知る機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品表示の知識普及、活用の推進	一般市民（成人）	一般社団法人フォーコム代表の森田満樹さんを講師に「大きく変わった食品表示 あなたはご存じですか？」を開催	今年度予定なし	12月19日来場とWEBのハイブリット開催、168人参加	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食のワークショップ【新規】	大学生	食品添加物について学び、食の安全性について参加者が考える場を設ける。	第1回は6月に実施 第2回は8月に実施	第1回は24名参加 第2回は12名参加。第2回目では豊かな食生活とは何かについて考えた。	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）



推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ						
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育ドキュメンタリー映画観賞会	未就学児～児童及びその保護者	子どもたちの和食給食を実践する保育園の取り組みを1年間に渡って追ひ、和食に秘められた先人たちの英知に迫るドキュメンタリー映画「いただきます1 みそをつくるこどもたち」から、和食の良さや食の大切さを感じる時間とする。さらに、映画を見て感じたことを、共に語り合いながら、私たちの食生活を見つめ直し、明日から実践できることを考える機会とする。	2023年3月21日（火・祝）回数1回	大人20名、子ども6名	みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）
取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます						
具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくれます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ネオニコチノイド系農薬に関する普及啓発	一般市民	身近な食品である「はちみつ」を切り口に、宮城県内の養蜂農家への取材内容をまとめながら、強い効果で長期間にわたり影響を与え続けるネオニコチノイド系農薬の特徴や生態系への影響について、分かりやすく伝える記事をウェブサイトで発信。	2023年度に延期		みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特色を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	JA仙台食農教育プラン 親子農業体験の開催	一般市民	○親子農業体験「ふあむふあむ」と題し、参加者を募集し実施。 ◆園芸：枝豆収穫体験 ◆果樹：梨狩り体験 ◆園芸：しいたけ収穫体験	8月 枝豆収穫体験 10月 梨狩り体験	8月の枝豆収穫体験、10月に梨狩り体験を実施し、31名の一般市民の方が参加され園芸、果樹の収穫を体験されました。 また、12月に予定していた、しいたけ収穫体験については協力先である生産者家族が開催日直前に新型コロナウイルスに感染された為、中止となりました。	仙台農業協同組合
2	JA仙台食農教育プラン 学童農園	小学生	○農作業体験（地区青年部が主体となって実施） ◆田植え 富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、荒井小、国見小、大沢小 ◆稲刈り 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小、七郷小、生出小、大沢小 ◆バケツ稲作栽培 国見小 ◆さつまいも・里芋 播種・収穫 杉の子保育園、バンビの森こども保育園、聖列スワ幼稚園 ◆枝豆播種 荒井小	・田植え5月 ・バケツ苗 5月 ・稲刈り10月 ・枝豆播種 5月 ・さつまいも・里芋苗定植 6月 ・さつまいも・里芋収穫 11月	田植え：約573名 稲刈り：約573名 播種：約75名 定植：約75名 収穫：約75名	仙台農業協同組合
3	JA仙台食農教育プラン 豆腐づくり講座	小学生	○地場産大豆を使って豆腐づくりを指導 1回35人前後で3時間ほどの講座（750gの大豆使用） ◆今年度も募集し参加校を募ります。	・7月上旬に各市町村の教育委員会を通じ案内書を送付。11月頃から講座開始	8校 22クラスの講習を実施。630名の生徒が参加されました。	仙台農業協同組合

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう						
取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます						
具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育紙芝居またはエプロンシアター 【新規】	乳幼児とその親	仙台白百合女子大学にて食育紙芝居またはエプロンシアターの実施 また人間発達学科の学生（保育士希望）に参加乳幼児をみてもらい、親に乳幼児期の栄養や行事食について講義する →実際は母親に子どもの食指導（アレルギー、小食、健康間食の作り方・与え方）を実施。その間、学生が幼児と芝生広場で水遊びをした。その後、親子で綿あめ作りを行った。	年1回 →2022年8月23日（火）	幼児3名+母親2名 参加学生8名	仙台白百合女子大学

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大学生に向けた食育の推進	大学生	食育関連の授業や研究室ゼミを通して、食に関する知識を提供して意識を高め、学生が自分自身の食生活を見直し、改善することを促した。	11～12月に5回（授業） 5～7月・月3～4回（ゼミ） 10～1月・月3～4回（ゼミ）	1・2年生 125名 4年生 5名 3・4年生 10名	宮城大学食産業学群
2	高校生の健康維持・増進に向けての食育講義（出張講義）	高校生	高校生がバランスの良い食事をとるための工夫、スポーツを行ううえでも役に立つたんぱく質・アミノ酸の摂取や貧血予防のための食事などについて、おいしく上手に食べることの大切さを含めて説明した。	10月15日に実施	1・2年生 19名	宮城県泉館山高等学校
3	若い世代に向けた食育推進に関する検討	20歳代	若い世代に対する食育推進は、次世代への食育を担う上で重要である。若い世代では、おもにSNS・インターネットを介して情報の入手および発信を行っていることから、若い世代に対する食育の推進は、これらのツールを活用し、食育への興味・関心を高める工夫について検討することが重要である。第4次食育推進基本計画では、「『新たな日常』やデジタル化に対応した食育の推進」が重点事項に挙げられていることを踏まえ、20歳代男女を対象にアンケート調査を実施し、若い世代に向けた「デジタル化に対応した食育の推進」について検討を行った。その結果、食に関する情報源が男女で一部異なる傾向がみられた。また、デジタル食育で興味があるものは、男女ともに「SNS簡単時短レシピ」で、次いで男性では「スポーツ栄養動画」、女性では「オンライン料理教室」であった。SNS利用や食育への興味・関心における男女の違いを踏まえて、デジタル食育を実践することが効果的であると考えられる。	12月に調査実施	対象者： 20歳代男性（111名）、 女性（110名）、 計 211名	宮城大学食産業学群

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	フレイル予防の啓発（宮城大学移動開放講座）	一般市民（中年期～高齢者）	フレイル予防のための食事や運動に関する講演を実施する。	10月1日	中年期～高齢者：約30名	宮城大学

**推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう**

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品に関する講座等の開催	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	10月、1回	参加55名	市民局

**推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持とう**

取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	広報誌「ゆたかなくらし」の発行	一般市民	・消費生活に関連する様々な情報の提供。	年4回発行 6月、9月、12月、3月 各9,000部発行	年4回発行 6月、9月、12月、3月 各9,000部発行	市民局
2	ホームページによる情報提供	一般市民	・食品表示に関する情報の提供。	随時	随時	市民局
3	消費生活センター内情報コーナーでの情報発信	一般市民	・行政機関や、各種団体の啓発資料等を設置し、情報提供の場とする。	随時	随時	市民局
4	食品に関する講座等の開催 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	10月、1回	参加55名	市民局
5	仙台市オリジナル消費者教育教材の製作・配布	一般市民	・消費生活の知識を楽しく学ぶことができる消費者教育ウェブ教材「伊達学園」において、幼児期から成人まで発達段階に応じた情報提供を行う。また、学校における消費者教育をより一層支援することを目的とした小学校高学年向けのコンテンツ「授業でござる」では、お金の使い方や地産地消などの情報提供を行う。	随時	随時	市民局
		小・中学生	・子ども達が消費生活について関心を持って学べるリーフレット等を製作し、市内の小中学校へ情報提供。 ①めざせ！買い物名人（小学校高学年用リーフレット）－ウェブ教材「伊達学園」内に電子教材として掲載。 ②めざせ！賢い消費者 伊達なくらし入門（中学生用副読本）－市内中学校へ配布。	年1回 （3月予定）	年1回 （3月）	市民局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ「くらしのガイド『子育て』」での情報発信	一般市民	・妊娠中の食生活や、離乳食、幼児食などの情報を提供	通年	子育てサポートブック「たのしねっと」に掲載している内容（妊娠中の食生活・離乳食・幼児食について）の情報発信を実施。	子供未来局

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	離乳食・幼児食講座、試食会	地域の子育て家庭保護者	各保育所及び子育て支援センターでの離乳食講座、幼児食講座の実施を通して、子育て家庭の保護者へ健康的な食習慣について情報発信をする。	4～3月 公立52件 私立28件 認可57件	公立235名 私立171名 認可319名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
2	献立表、給食だよりの、保育参観などでの働きかけ	保育所等入所児童の保護者	・保育所等の給食だよりを通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。	全保育所等で毎月給食だよりのリーフレットを配布	入所児童家庭対象施設 公立33施設 私立128施設 認可69施設	保育所 保育所連合会 子供未来局
3	親子調理活動	保育所等入所児童と保護者	・保育参観や懇談会等で親子調理活動を実施し、親子で食事作りを楽しみ、家庭での食への興味や関心を深める。	4～3月 公立0件 私立2件 認可7件	参加者 私立45名 認可198名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
4	保護者への啓発	保育所等入所児童の保護者	・給食だよりに食育活動報告を載せ、保護者に周知する。 ・懇談会や給食試食会を実施する。	保護者周知 公立429回 私立2,690回 認可1,130回  懇談会等 公立37回 私立476回 認可312回	参加者 公立376人 私立6,735人 認可5,811人	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
5	のびすく宮城野「COOPママ 絵本で食育親子あそび」【新規】	0歳児親子	楽しく食べる離乳食 食育インストラクター、野菜ソムリエによる離乳食レシピ	1回/年	実施回数 1回 参加者 10人	子供未来局
6	のびすく宮城野「管理栄養士による幼児期の食育」【新規】	1～3歳児親子	幼児期食育について 親子でおやつレシピ紹介	1回/年	実施回数 1回 参加者 10人	子供未来局
7	のびすく若林「グループ相談 母乳と離乳食」【新規】	生後5～10ヶ月の乳児と保護者	母乳と離乳食について助産師からアドバイス及び相談	1回/年	実施回数 1回 参加者 5組10名	子供未来局
8	のびすく若林「グループ相談 離乳食」【新規】	0歳児の保護者	離乳食について、始め方や進め方を管理栄養士からアドバイス及び相談	1回/年	実施回数 1回 参加者 5組11名	子供未来局

9	のびすく長町南 「ちょこっと離乳食」 【新規】	乳幼児親子	離乳食についての相談会（オンラインで実施）	通年	実施回数 6回 参加者 延べ17人	子供未来局
10	のびすく長町南 「グループ相談～離乳食について～」 【新規】	乳幼児親子	太白区家庭健康課の管理栄養士による、離乳食についてのグループ相談	2回/年	実施回数 2回 参加者 10人（5月のみ）	子供未来局
11	のびすく泉中央 「育ちの楽校「楽しく食べるを育もう！～離乳食～」」 【新規】	乳幼児親子	泉区家庭健康課の栄養士により、離乳食講座と参加者同士のグループ相談	1回/年	実施回数 1回 参加者 7組14名	子供未来局

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・保育所連合会栄養士研修で乳幼児の発育・発達と食行動についての理解を深め、施設での実践に繋げる。 ・栄養士研究委員会にてテーマを設けて研究・発表する。	10月12日	参加者数182名	保育所連合会 子供未来局
2	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	・講義を通して、保育施設の食育について学ぶ	8月30日	参加者数158名	保育所連合会 子供未来局
3	栄養士研修	小規模AB事業所内	・食べる機能について	8月24日	参加者数79名	保育所 子供未来局
4	食物アレルギー研修	公立・私立・認定こども園の保育従事者	・乳幼児におけるアレルギーの基本	8月18日	参加者数151名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
5	業務研修	保育士	・職場内で食育や食物アレルギーの研修を実施し、正しい知識を得るとともに職員間での共通理解を深め実践につなげる。	随時	各施設において、随時実施している。	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
6	食物アレルギー研修会	保育所等職員	・「エビベン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する。	随時	エビベン貸出による実施 実施施設23か所 参加者299名	保育所 子供未来局

具体的な取組 ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします。

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	母子手帳交付説明会、母親教室等での啓発	妊産婦 その家族	・妊娠中の食生活の確認と、家族を含めた健康的な食習慣についての啓発・相談・指導	母子健康手帳交付説明会：各区・支所にて毎月1～2回、年間111回開催 母親教室等：102回開催 産後交流会（宮総）：3回 歯ッピー教室（宮総）：R4年度より個別相談となる	母子健康手帳交付説明会：590人参加、個別相談14件 母親教室等：1,305人参加、個別相談21件 産後交流会（宮総）39人参加、個別相談7件 歯ッピー教室（宮総）栄養相談8件	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
2	3～4か月育児教室での啓発	乳児の保護者	・乳児の食生活についての資料配布、パネル展示等	135回開催 ※新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、R2.3月～中止していたが、R4年8月より再開している。各区月1～2回開催。	3,284人参加、個別相談6件	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
3	離乳食教室	乳児の保護者	・離乳食の進め方や具体的な調理の方法を学ぶ ・参加者間の情報交換により、親同士のつながりをもつ機会とする ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取と内容の充実について啓発（太白）	年間74回開催 せんだいTube・太白区チャンネルにて、管理栄養士による「食育情報」の動画を配信	576人参加、個別相談263件	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所

4	1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳児健診における啓発	幼児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児期の健康的な食生活についての啓発と、個別相談</li> <li>・ 食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取について啓発（2歳6か月児歯科健診集団指導時：太白）</li> </ul>	1歳6か月児健康診査：205回 2歳6か月児歯科健康診査：206回 3歳児健康診査：214回	1歳6か月児健診：7,489人受診、個別相談1,069件 2歳6か月児歯科検診：7,645人受診、個別相談778件 3歳児健診：7,738人受診、個別相談601件	子供未来局 各区保健福祉センター 総合支所
5	訪問相談	地域の子育て家庭保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域子育て家庭へ訪問し、乳幼児の食のすすめ方について個別に相談指導を行う。</li> </ul>	4月～3月 6か所で実施予定	5施設（公立）665件	保育所 子供未来局

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民センター、児童館への出前講座	地域の子育て家庭保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童館、市民センターで離乳食講座、幼児食講座を実施し（出前講座）、生活リズムや健康的な食習慣についての情報を伝える。</li> </ul>	実施なし		保育所 子供未来局

取り組みの方向性 ①-G 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-G-1 保育所の食育計画に基づき、日々の生活の中で子供たちへの食育を充実させます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等における食育の充実	保育所等入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各施設において「食育の計画」並びに「食育活動計画」を作成し、保育中での食育を推進する。</li> <li>・ 毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける。</li> <li>・ 各施設での食育活動を通して、朝食を毎日バランスよく食べる家庭が増えることを目指す。</li> </ul>	4月～3月 食育計画 公立33件 私立132件 認可69件 食育活動 公立824回 私立3,672回 認可2,303回 朝食についての働きかけ 公立50回 私立296回 認可472回	「年間食育計画」並びに「食育活動計画」は全保育所で作成、実施  食育活動参加 公立19,818名 私立79,867名 認可54,138名 朝食についての働きかけ 公立3,301名 私立17,579名 認可78,027名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
		保育所職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食育の一環として保育士が子どもと同じものを食べ、子どもが食べ物に興味や関心を持ち、食べる意欲を育てたり食事マナーに気付かせるような働きかけを行う。</li> </ul>	6月～3月 公立	公立16施設84名	

具体的な取り組み ①-G-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	畑作りとその収穫物を利用した食事作り	保育所等入所児童	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 畑作りの年間計画をたてる。</li> <li>・ 子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる体験までつなげる。</li> <li>・ 収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。</li> </ul>	畑作り年間計画 公立32件 私立111件 認可62件 4月～3月 収穫した回数 公立1,313回 私立2,485回 認可2,454回 収穫物を給食に取り入れた回数 公立751回 私立2,093回 認可1,126回	収穫物を食した人数 公立34,234名 私立80,397名 認可45,278名	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局



取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします						
具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	父親育児参加推進事業のひすく仙台「パパ'sクッキング」	乳幼児のいる父親	新型コロナウイルス感染症の影響から開催中止 (代替事業の計画はないが、食育を目的とした栄養相談や離乳食相談を実施するほか、父親育児参加推進事業として父親同士の交流を促進するイベントの開催を予定している。)	令和3年度同様に開催見送り。 (当事業は令和2年度まで仙台市ガス局との共同事業としてガスサロンで実施していたが、燃料費高騰等を受け、令和3年度にガス局から開催見送りの話があった。市民センター等に場所を替えて単独事業として実施することを検討したものの、新型コロナウイルス感染症の影響から、今年度の開催を見送った。	開催中止	こども若者局
推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう						
取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます						
具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等給食における食文化の継承	保育所等入所児童	・給食の献立や行事に、行事食や郷土料理（伝統食）を提供することを通じて地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。	4～3月 行事食や伝承料理を給食に取り入れた回数 公立471回 私立3,481回 認こ1,538回	食した人数 公立31,770名 私立261,295名 認こ128,421名 保護者への啓発 公立266回 私立2,429回 認こ997回	保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局
推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します						
具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所等給食における地場産物の活用推進	保育所等入所児童と保護者	・地域の生産者との連携により、米や季節の野菜を給食のメニューに取り入れる。 また、生産者と児童が野菜や食材を通して交流を図り、流通について学んだり、感謝の気持ちを持つ。 ・保護者にも活動の様子を伝え、地元の食材に関心を持ってもらう。	通年		保育所 私立保育所（園） 認定こども園 子供未来局

推進の柱④ 環境を意識した食の取り組みをすすめよう

取り組みの方向性 ④-A 食品ロス削減の取り組みをすすめ、市民の実践につなげます

具体的な取り組み ④-A-1 「もったいナイ」の精神で、食品を無駄なく使い、食品ロスや生ごみを減らす取り組みを応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	もったいナイキッチン	一般市民	食の3Rにつながるレシピ（普段は捨ててしまう食材の使用、生ごみを出さない調理の工夫など）と、食品ロスの解決や生ごみ分別のヒントにつながる情報を提供するウェブサイトにより、食品ロス削減に関する市民の気運醸成と食の大切さを再発見するきっかけづくりを進める。	通年（平成29年9月1日サイト公開→令和4年10月からワケルネットへ統合）	ワケルネットに統合後は統合前の記事を残しつつ、新たなごみ減量・リサイクルにつながる情報を記事として発信している。	環境局
2	食品ロスガイドブックの活用	講座受講者等	令和3年3月に発行した「せんだい食品ロス削減ガイドブック」について、講座受講者等への配布、ウェブサイト「ワケルネット」において公開することにより、市民へ向けて食品ロス削減に関する啓発を行う。	随時 ワケルネットでの公開：通年 講座：第1回 11/22 第2回 12/19 第3回 1/24	第1回講座 会場参加者：36名 アーカイブ申込者：53名 第2回講座 会場参加者：42名 アーカイブ申込者：27名 第3回講座 会場参加者：41名 アーカイブ申込者：31名	環境局

具体的な取り組み ④-A-3 フードバンク、フードドライブの取り組みを市民に広く啓発し、食品ロス削減への気運を高めます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	フードドライブ	一般市民	市施設と民間商業施設で未使用食品の回収事業を実施し、フードドライブの取り組みに関して啓発する。	通年で実施予定	回収した食品はフードバンク、仙台NPO法人ふうとばんく AGAIN及び仙台市社会福祉協会へ全量引き渡している。31か所の回収拠点で実施、食品の回収量は約24,067kg。（令和4年度回収実績）	環境局

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特色を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくり出す

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施予定時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここちゃん）	一般市民	・イベント等で「せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここちゃん）」を活用し、仙台産農産物のPRを図る。	随時		経済局
2	NHKテレビ「もりすた!」	一般市民	・仙台市中央卸売市場で取り扱う旬の食材と、その食材を生かした美味しい食べ方等を紹介する。	放送予定回数 38回	放送回数 50回	経済局
3	小学校、一般市民などの市場見学への対応	一般市民	・食品流通の仕組みと市場の役割について理解を深めてもらうため、一般市民や小学生親子に中央卸売市場内を見学してもらう ①一般見学 ②夏休み親子市場見学会	①6月20日再開 8月9日 停止 9月26日再開 ②8月に実施予定	①9組 約140名 ②実施を予定していたが、急増したコロナウイルス感染の予防のため、急遽中止となった。	経済局 （事業主体： ② ・仙台大さかな普及協会 ・やさい・くだもの普及委員会
4	地産地消機会創出のための情報発信	一般市民	ホームページやSNSを活用し、市内産農産物などに関する情報を発信し、消費拡大を図る。 ①ホームページで、生産者取材や市内産農産物を使ったレシピを掲載するほか、事業の広報等を行う。 ②SNS（Instagram）で、生産者取材、販売店や直売イベントの広報のほか、市内産農産物やレシピ等の紹介を行う。 ③市内産農産物の情報を広く発信するイベントを開催する。	通年 ①ホームページは随時更新を行う。 ②SNS（Instagram）は週2～3回程度の頻度で記事投稿を行う。 ③8月上旬4日間及び10月に開催。	①ホームページ ・サイトを訪れたユーザー数：10,087名 ・サイトへの訪問数：13,906件 ②Instagram ・記事投稿数：202回 ・フォロワー数：1,438名 ③とれたて仙台フェア 【会場】CROSS B PLUS 【期間】8月と10月に4日間ずつ 【内容】 ・仙台産農産物を使った特別メニューの提供 ・会場内大型LEDビジョンで市内生産地の風景映像の放映 ・仙台産農産物詰め合わせセット販売等 また、10月は1か月間を「とれたて仙台」地産地消月間として、多様な関係団体と連携し、全市的な事業展開を図った。	経済局

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくり出す

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市旬の香り市	一般市民	仙台市内の生産農家が直売をする ①仙台市勾当台公園カフェ前 ②せんだい農業園芸センターみどりの杜	①4～11月（原則第2・第4水曜日開催） ②4～10月（月1回土曜日開催）	新型コロナウイルス感染症対策をしながら予定通り開催した。 ①4～11月まで計15回開催 ②4～10月まで計5回開催	経済局

2	地産地消イベント開催	一般市民	・仙台産農産物を使った料理教室や生産現場の見学会等を開催し、地産地消への関心を高めてもらう。	①仙台産野菜を使った料理教室 夏～冬（年2回予定） ②生産現場見学会 秋～冬（年2回予定） ③栽培・収穫体験講座 夏～冬（播種・収穫各1回予定） ④地産地消講座 10月（年2回予定） ⑤仙台産野菜と花のアレンジメント制作ワークショップ 10月（年1回予定）	①夏：8月10日(水)お盆の仙台 伝統料理教室開催 小学生親子7組14人参加 冬：2月25日(土)米粉と仙台 産野菜料理教室開催 12人参加 ②11月19日(土)東部コース開 催 小学生親子7組17人参加 11月26日(土)西部コース開 催 小学生親子6組13人参加 ③播種：8月27日(土)開催 小学生親子6組15人参加 収穫：10月29日(土)開催 小学生親子6組15人参加 ④旬の果物の講話：10月23日 (日)開催 37人参加 旬の野菜の講話：10月26日 (水)開催 14人参加 ⑤10月31日(日)開催 15人参加	経済局
3	せんだい収穫まつり開催	一般市民	・せんだい農業園芸センターにて開催 ・生産者と消費者等の相互交流を図るためのイベント	11月中旬の土日（予定）	11月12日(土)・13日(日)開催 来場者数：2日間延べ11,424人	経済局

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	担当主体・局	
1	レクリエーション農園、学童農園設置促進事業	一般市民、児童	・市民や子どもたちが「農」と触れあい、体験できる機会の充実を図るための各種農園設置への支援（レクリエーション農園については開設に係る相談等の対応）	学童農園では、各農園4月～2月に2回以上農作業体験実施	学童農園は、61農園54校（小学校29、中学校1、幼保等24）で実施した。	経済局

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
2	農食ビジネスモデル構築事業	一般市民	生産者、流通事業者、飲食店等と連携し、生産地と消費地の近さを活かした流通モデルを構築することにより、枝豆をはじめとした地元の農産物の高付加価値化、消費拡大を図る。	取り扱う農産物の流通時期	今朝採り枝豆 参加飲食店数：52店舗 参加量販店・小売店：46店舗	経済局
3	エコファーマーの周知	一般市民	①せんだい農業園芸センターで開催されるせんだい収穫まつりで関連リーフレットを配架し、来園者に対して情報を提供した。 ②ホームページで取組に関する情報を提供。	①11/12・13（2日間） ②随時	せんだい収穫まつり 来園者数 11,424人	経済局
4	保育所等サンマ教室への協力	①保育所等入所児童 ②中学生	①おさかな普及協会が、保育所に出向き、子供達が、魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、子供達にサンマの炭火焼を体験させる ②おさかな普及協会が、中学校に出向き、生徒達が魚食に対する興味を持ったり、関心を深めてもらえるよう、生徒達にサンマをおろしてつみれ汁を作ることを体験させる	①実施時期 10月 実施回数 1回 ②実施時期 10～11月 実施回数 6回	①園児 270人 園職員 43人 ②中学生 192人	経済局 （事業主体：仙台おさかな普及協会）
5	生産者による出前授業への協力	①小学生	①小学校の授業の一環として、生産者が小学校でリモート授業を行い、農産物等の生産・流通現場について直接子供たちに話をすることにより、食の大切さを伝える。	①実施時期 6～R5.2月 実施回数 3回	①小学生 422人	経済局 （事業主体： ・農業協同組合 ・仙台あおば青果樹 ・やさい・くだもの普及委員会）

<b>推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ</b>						
<b>取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます</b>						
<b>具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくれます</b>						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	経済局分 検体数20（野菜0、林産物20） ・実施期間 4月～10月 ・検体数 20（林産物）	経済局分 ・実施期間 4月～10月 ・検体数20（林産物20）	経済局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう						
取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします						
具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食フェア	一般市民	・市役所食堂での給食メニュー提供及び資料展示	令和5年1月16日～20日まで実施。資料展示は本庁舎1階ロビー。	給食メニューは連日完売、資料展示もレプリカや食育教材が好評であった。	教育局
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-3 学校において食生活調査を実施し、調査結果を活用して健康教育を実施します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策の取組	小・中学生	・今後5年間にわたって取り組む「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策に学校・家庭・地域・関係機関の連携を基盤とし、取り組んでいく。	新たに令和4年度健康教育推進校として小・中学校2校を指定。健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」（令和4年8月3日）		小・中学校教育局
2	健康実態調査	小・中・高校生	・発育状況・疾病及び体力・運動能力、食習慣についてその実態を把握し、分析検討を加え、もって児童生徒の健康と体力の増進を図る。	4月～夏季休業日前	発育測定・一般検診は全児童生徒対象。体力・運動能力調査は全児童生徒対象。健康に関する調査は指定抽出学年対象。	市立学校教育局
具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民対象の食育に関する講演会の実施	学童期の保護者、市民	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」（令和4年8月3日）	参加者：教職員45名、保護者15名	教育局
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギー研修会	学校職員	・食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施する。 ・「エビベン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する	5月・12月実施。	参加者：5月 178名、12月 186名	小・中学校教育局
2	食育講演会 《①-B-5再掲》	学校職員	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会「仙台っ子健康セミナー」（令和4年8月3日）	参加者：教職員45名、保護者15名	小・中学校教育局

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子食育講座	小学生とその保護者	・子供の基本的な生活習慣の確立と生活リズム改善を目的として、栄養士等を講師とした「食育」に関する講話・調理実習を内容とする講座を行う（各小学校の社会学級やPTA等に委託）	令和4年6月～令和5年1月14校で実施。	のべ31回実施、のべ2,855名参加（WEB配信視聴者含む）。	教育局
取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします						
具体的な取り組み ①-H-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	調理講習会in学校給食センター	小学生とその保護者	・学校給食センターの見学や調理実習を通じて、食の大切さを学ぶ機会を提供	今年度は中止		教育局
推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう						
取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます						
具体的な取り組み ②-A-2 学校給食を通じて行事食、郷土食を伝えます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食を生きた教材として活用した食育の推進	児童生徒・保護者	・給食の時間における食に関する年間指導に基づいて、地域の郷土食や行事食を提供することを通じて、地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。併せて保護者へも献立表や給食日よりで紹介し、家庭における食育を促す。	各学校において、随時実施。		小・中学校教育局
推進の柱③ 地産地消をすすめよう						
取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します						
具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「せんだいっ子給食月間」	児童生徒	・6月に「せんだいっ子給食月間」を設け、地場産物の活用状況についての調査を行う。	6月実施。		教育局
取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります						
具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページでの情報発信	一般市民	・学校、仙台市教育委員会のホームページで地場産物活用献立の紹介などを広く発信する。	随時。		教育局

推進の柱① 食を通じた健康づくりを实践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ食育のページでの発信	一般市民	・食育事業の紹介、食育推進隊などの活動紹介、関係機関等へのリンクなど、情報を発信	通年	通年	健康福祉局
2	各区ホームページの食育のページでの情報提供	一般市民	・食育に関する事業のお知らせや実施状況 ・食で健康サポート店の紹介 ・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
3	健康づくり情報コーナーの設置	一般市民	・食事バランスガイド、食で健康サポート店、健康づくりや生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	庁舎内に設置 随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
4	食育月間事業 食生活改善普及運動 食育の日普及啓発	一般市民	・市政だより、区ホームページ、庁内放送、パネル展、レシピの配布等による普及啓発 ・図書館に食育のブースを作り、関連書籍とともにリーフレット・レシピ配布による普及啓発	6月 食育月間パネル展実施 9月 食生活改善普及運動 毎月19日 食育の日 11月 みやぎの食育月間（宮総）	各区、総合支所にてパネル展等開催、レシピ・啓発物配布、庁内放送を実施 【食育月間】パネル展7回、資料配布延2142枚、庁内放送延24回 【食生活改善普及運動】パネル展等8回、資料配布延2212枚 【食育の日】 庁内放送：延38回 資料配布等：延690枚	各区保健福祉センター 総合支所
5	「食育の日」のぼり設置による啓発	地域住民	・庁舎前・地域の中心部国道沿いにのぼりを設置しPR	毎月15日～19日の5日間	左記のとおり実施	秋保総合支所
6	せんだいTube、太白区チャンネルでの情報発信【新規】	子育て世代	・離乳食レシピ動画、地域と連携した食育動画、野菜食育プログラム連動レシピ動画、仙台特産野菜レシピ動画をせんだいTube、太白区チャンネルで配信 ・食育動画啓発ポスターを関係機関に配布、リーフレットを3～4か月育児教室、幼児健診個別相談等にて配付	通年	仙台特産野菜レシピ動画1本制作 視聴回数せんだいTube4,186回 太白区チャンネル 354回 動画啓発リーフレット2,000部	太白区保健福祉センター
7	フェイスブックおよびInstagramによる健康情報の発信	一般市民	・健康政策課フェイスブックページ「仙台伊達なキッチン-だてきち」で、食を中心とした健康情報や簡単レシピなどを発信する。令和4年度よりInstagramも開始。	毎週水曜日に記事を配信 その他イベント等に合わせて情報を随時配信	フェイスブック 記事掲載数50回 Instagram 記事掲載数41回	健康福祉局
8	せんだい食の安全サポーター制度【新規】	一般市民	・せんだい食の安全情報コミュニケーターによる、地域におけるパンフレット配布活動の実施	年4回活動	4回実施済	健康福祉局
9	動画による情報発信	乳幼児とその親	①BCG接種来所者に向けて離乳食開始～1か月頃の進め方についての動画放映 ②1歳6か月児健診・3歳児健診来所者に向けて幼児期の肥満と生活習慣についての動画放映	①通年 ②3月末より	①年5回 ②年2回	宮城野区保健福祉センター



具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発	子育て中の保護者	・PTAフェスティバルにて、生活習慣病予防コーナーを設置し、小中学生の親子に健康的な食事について情報発信を行う。 ・野菜クイズ、野菜に関するパネル、フードモデル展示など	実施未定	今年度実施なし	健康福祉局
2	子育てについてのイベント	子育て中の保護者とその子ども	・「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信 郷土料理、手作りおやつ紹介など	イベント実施が困難なため、子育て応援倶楽部いずみ参加団体情報交換会の実施 10月26日	今年度は、食育担当は参加なし	泉区保健福祉センター
3	おやつレシピコンテストを契機とした啓発	子育て中の保護者とその子ども	・野菜を使った、親子で作る手作りおやつをテーマにおやつレシピコンテストを開催し、入賞レシピをホームページや展示等で配布。 ・おやつレシピコンテストの審査に親子で参加してもらうことで、食への興味関心を高める。	①7～10月 レシピ募集 ②2月 試食会・表彰式 ③3月 入賞レシピ紹介（HP、レシピ配布）、食育啓発カードの作成	①2点応募 ②試作：食育サポーター3団体 試食・表彰式：児童館1か所、食育サポーター3団体 ③レシピ配布 50部 食育関係者に啓発カード配布 100枚	宮城野区保健福祉センター
4	子育て世代、働き盛りに向けたイベント	児童と保護者	・ララガーデン長町におけるウォーキングクイズラリー 館内に健康クイズを設置し、参加者は、館内を歩きながらクイズに解答。参加者にクイズの解答と健康情報を掲載した資料等を配布	・8月 1回	親子180名参加	太白区保健福祉センター
5	朝食に関する啓発【新規】	児童とその親	鶴ヶ谷東マイスクール児童館主催の朝ごはんを提供する「朝カフェ～キッチンつながり～」にて朝食に関するリーフレットを配布	①11月19日 ②3月25日	各日50家庭へ配布（計100部）	宮城野区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-A-4 食育活動に取り組む市民のネットワークをつくり、活動についての情報を広く発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台食育推進隊」の登録推進と情報発信	一般市民	・「仙台食育推進隊」の募集、登録。また、活動状況や情報をホームページなどで市民に提供	通年	通年	健康福祉局
2	食生活改善推進員の活動支援	食生活改善推進員	食を通じた健康づくりボランティア「食生活改善推進員会（宮城・秋保・泉）」の活動支援 ・会の活動や運営等における情報提供や助言 ・食生活改善推進員の育成支援（研修会の実施など）	（全体） 食生活改善地区組織育成研修会（2月） 協議会打ち合わせ会 年2回予定（宮城）定期総会は書面にて開催予定。 委託事業、宮城地区での研修等については、感染拡大防止対策を取り、可能な範囲で実施。 （秋保）5月定期総会開催。推進員対象の研修を開催予定。 （泉）推進員育成講座は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	（全体） 協議会打ち合わせ会 9月16日、3月17日 2回実施 食生活改善地区組織育成研修会 2月13日26名参加（宮城） ・定期総会 7/11 16名参加 ・日食協委託事業 11/16、17 広瀬高校生徒36名、推進員10名参加 ・地区研修会 12/1 16名参加 ・県委託事業 各家庭・近隣住民等に対し実施 （秋保） ・定期総会 5月6名参加 ・反省会 3月9名参加 ・学習会 5回40名参加 （泉区）9月9日会員での勉強会（カレンダーを活用した調理実習）会員3名参加	健康福祉局 宮城総合支所 秋保総合支所 泉区保健福祉センター
3	食育サポーターの活動支援	食育サポーター	①食育サポーターの研修 ②食育サポーターの活動の場の提供 ③市民に向け活動内容の紹介等	①7月15日 ②おやつレシピコンテストでの試作・試食審査等 ③食育月間パネル展での活動紹介パネル展示	①4団体9名参加 ②3団体6名参加 ③食育月間パネル展での活動紹介パネル展示	宮城野区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり、自主的な食育活動につなげます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	大学との連携による若い世代への食育推進事業「大学生の食育プロジェクト」	若い世代	若い世代への食育啓発のため、同世代の学生が自らのアイディアで、より多くの若者に食の大切さを浸透させ、食育の関心を高める取り組みを行う。	実施未定	実施なし	健康福祉局
2	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースレター（NL）とホームページによる健康づくりの普及啓発</li> <li>・学校へ電話や訪問し、健康課題など状況を把握する</li> </ul>	NL：年2回発行 メンタルヘルス勉強会（12月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NL：7月発行、2月発行予定（専門学校23校、関係機関2か所）</li> <li>・電話23校、訪問2校</li> <li>・勉強会11名参加（専門学校6校）</li> </ul>	青葉区保健福祉センター
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を訪問し、健康課題など状況を把握する</li> <li>・リーフレットによる検診と食育の啓発</li> </ul>	対象校(7校)に年4回の啓発物送付のうち2回(6月、11月)について食育の内容を発信	年2回(6月、11月) 7校延べ4,046人に啓発物送付	宮城野区保健福祉センター
		大学生等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北工業大学の1、2年生を対象に「健康的な食生活、歯と口の健康、防煙」等の内容を盛り込んだ総合的な健康教育の実施。</li> <li>・東北工業大学文化祭にてポスター掲示、資料・レシピ集配布</li> <li>・宮城大学食産業学群校内にモーベジ啓発ポスター掲示</li> </ul>	7月 2回 11月 2日間 11月	1回目70名、2回目100名参加 資料・レシピ22部配布 1回	太白区保健福祉センター
		大学生等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①食育月間に合わせ、食育啓発ポスターを配布。 《①-A-1再掲》</li> <li>②東北生活文化大学との連携により、若い世代向けの啓発媒体を作成し、食育月間での啓発に活用する。</li> <li>また、啓発媒体の作成に関わることによる学生の食生活の変化を把握する。</li> </ul>	①6月 ②7～10月	①9施設配布 ②6月の食育月間パネル展で昨年度作成したニュースペーパーの活用 7月28日特別講座実施4年生27名対象 1月17日ニュースペーパー発表会4年生27名食生活に関するアンケート実施	泉区保健福祉センター
3	おやつレシピコンテスト 《①-A-2の再掲》	専門学校の学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台スイーツ&amp;カフェ専門学校と連携し、親子が一緒に調理できる、野菜を使ったおやつをテーマに学生からレシピを募集し、おやつレシピコンテストを開催。</li> </ul>	①7～10月 レシピ募集 ②2月 試食会・表彰式 ③3月 入賞レシピ紹介（HP、レシピ配布）、食育啓発カードの作成	①2点応募 ②試作：食育サポーター3団体 試食・表彰式：児童館1か所、食育サポーター3団体 ③レシピ配布 50部 食育関係者に啓発カード配布100枚	宮城野区保健福祉センター
取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます						
具体的な取り組み ①-B-1 子供や家族の食習慣について、現状を把握します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	幼児の食生活状況の把握	1歳6か月児健康診査・2歳6か月児歯科健康診査・3歳児健康診査受診者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児健診の問診票や健診結果のデータ等を集積し、食生活状況を把握する</li> </ul>	通年	身長・体重・肥満度・問診項目・個別相談の結果等を集計	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児健診、離乳食教室、訪問栄養相談での把握	乳幼児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問診票、アンケート、聞き取り等による食生活状況の把握→アンケート内容を見直し、ベビーフードの利用状況を聞き取ることにした。</li> </ul>	奇数月の離乳食教室実施時	6回 55名	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	地域の子育て中の保護者	・乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等	随時受付	（集団指導） 実施回数：14回 参加人数：61名 （個別指導）延18名	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児食相談会	概ね1歳～1歳4か月児と保護者	・食育や幼児食についての個別相談会	5回（6・8・10・12・2月）	5回（6・8・10・12・2月） 9名	青葉区保健福祉センター
3	「モーベジ！」を活用した啓発	子育て世代	・食育推進事業の標語「モーベジ！」を活用し、朝食と野菜摂取を各種事業（幼児健診、離乳食教室等）、関係機関（保育園、小学校等）との連携事業等で啓発。モーベジスタートガイド、モーベジレシピ配布（HPでも公開） ・ララガーデン長町飲食店と連携した食情報発信 ・ララガーデン長町における秋保ヴィレッジマルシェにてモーベジポスター掲示、レシピ配布	通年  予定が合わず未実施 6月2回、3月1回	モーベジスタートガイド3,280部、モーベジレシピ228部配布  モーベジレシピ300部配付	太白区保健福祉センター
4	幼児食育推進連携事業	幼児とその保護者	・幼稚園等で幼児及び保護者双方を対象に食育通信発行、食育DVD上映、食育通信に連動したレシピ動画の啓発等をパッケージ化した野菜食育プログラムを実施	6月～2月各施設1か月程度	6施設（幼稚園1施設 認定こども園1施設 保育所4施設） 549名実施	太白区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子育てイベントでの啓発《①-A-2再掲》	子育て中の保護者	・PTAフェスティバルにて、生活習慣病予防コーナーを設置し、小中学生の親子に健康的な食事について情報発信を行う。 ・野菜クイズ、野菜に関するパネル、フードモデル展示など	実施未定	実施なし	健康福祉局
2	子育て世代、働き盛りに向けたイベント《①-A-2に再掲》【新規】	児童と保護者	・ララガーデン長町におけるウォーキングクイズラリー 館内に健康クイズを設置し、参加者は、館内を歩きながらクイズに解答。参加者にクイズの解答と健康情報を掲載した資料等を配付	8月 1回	180名参加	太白区保健福祉センター
3	朝食に関する啓発【新規】	児童とその親	鶴ヶ谷東マイスクール児童館主催の朝ごはんを提供する「朝カフェ～キッチンつるがや～」にて朝食に関するリーフレットを配布	①11月19日 ②3月25日	各日50家庭へ配布（計100部）	宮城野区保健福祉センター
具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会	認可保育所、認定こども園、小規模保育事業施設、認可外保育施設、企業主導型保育実施施設、事業所内保育施設の食育担当者等	・食育に関する講話、事例発表、情報交換等	7月 青葉区・宮総共催 対象：59施設 （内宮総管内14施設）	7月 ハイブリッド方式で実施 32施設33名 （内宮総管内9施設9名） ・オンライン参加 27施設28名 （内宮総管内8施設8名） ・会場参加 5施設5名 （内宮総管内1施設1名）	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	食育推進研修会	小中学校・幼稚園・保育所・児童館等の食育担当者、訪問栄養相談員	・食育や健康づくりに関する講演	年1回	1回 参加33施設	若林区保健福祉センター
3	食育担当者情報交換会	保育所、幼稚園、学校の食育担当者	・事例発表、情報提供、情報交換等の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		太白区保健福祉センター 秋保総合支所

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	マミーズクラブ同窓会での啓発	母親教室卒業生（乳児の保護者）	・授乳中の母親の食事について講話と資料配布	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、食事についての講話・資料配布等は休止中（再開時期未定）	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、食事についての講話・資料配布等は休止中（再開時期未定）	青葉区保健福祉センター
2	育児相談会「まめっこの会」	1歳までの乳幼児と保護者	・育児相談 ・育児の情報提供など	年6回（5・7・9・11・1・3月）	6回（5・7・9・11・1・3月） 栄養相談24件	青葉区保健福祉センター
3	歯ッピー教室（1歳児歯科保健教室）における啓発	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食生活についての個別相談	奇数月開催（1回あたり4名の予約枠）	栄養相談 延べ7件	宮城総合支所
4	母親教室での啓発	妊婦	・妊娠中、出産後の身体を考えた食生活についての講話、資料配布	年4回予定（4・7・10・1月）	4回 42名	宮城総合支所
5	あかちゃんくらぶでの啓発	乳児の保護者	・乳児期の食事の進め方と家族の食生活について講話	年3回予定（4・8・12月）	3回 39名	宮城総合支所
6	育児相談	乳幼児の保護者	・親が現在の子供の食事内容や与え方等について相談し、子供にあった対応についての確認をし、自信を持って食事づくりができるよう支援をする	所内、六郷保健センター、七郷保健センターにて各12回	所内12回 相談12件 七郷12回 相談10件 六郷は実施なし	若林区保健福祉センター
				茂庭台 年5回（1回中止） 生田 年2回 東中田 年3回（1回中止） 区役所 年12回	茂庭台 9名参加 生田 2名参加 東中田 7名参加 区役所 58名参加	太白区保健福祉センター
				泉すくすく育児相談 4月25日、6月27日、8月22日、10月24日、12月26日、2月27日 計6回実施予定	4月25日6名、6月27日9名、8月22日6組、10月24日4組、12月26日8組 2月27日8組 対応	泉区保健福祉センター
				12回（高砂保健センター・岩切保健センター各6回）	栄養個別相談実施回数・件数 高砂：6回 延べ20件 岩切：6回 延べ19件	宮城野区保健福祉センター
7	育児相談（幼児健診事後）	乳幼児の保護者	・1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導の教室で、幼児期の健康的な食生活についての講話と相談	風の子 8月23日、2月21日 わんぱく 7月5日、1月17日 栄養講話実施予定	風の子 8月23日6組 2月21日5組 参加 わんぱく 7月5日8組 1月17日6組 参加	泉区保健福祉センター
8	訪問栄養指導事業	おもに妊産婦、乳幼児の保護者など	・家庭訪問により、生活実態に合った具体的な支援をする	通年	延件数 94件 妊産婦：1件 乳幼児：93件 その他：0件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
9	食生活・栄養相談	乳幼児の保護者及び妊産婦	・電話、来所による栄養相談	通年、随時受付	妊産婦：27件 乳幼児：335件	各区保健福祉センター 総合支所
10	ハロー赤ちゃん	初妊婦	・来所による妊娠中の食生活についての集団指導を実施する	年5回実施（1回中止）	53名参加	太白区保健福祉センター
11	秋保くらしの保健室【新規】	一般市民	乳幼児から高齢者まで幅広い層を対象とした、生活全般についての相談会（包括支援センター、市民センター共催）	年3回程度	10回開催 145名来所 個別相談61件（うち栄養52件）	秋保総合支所

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	拡大学校保健委員会	保護者	・拡大学校保健委員会（保護者参加）の中で、地域の健康課題や児童の健診結果について共有し、生活習慣改善に向けた取り組み等について検討する。	実施の予定なし	実施なし	宮城総合支所
2	児童館と連携した健康教育	児童	・児童クラブを対象として、朝食の大切さやおやつの摂り方、栄養のバランス等健康的な食生活についての講座を実施	積極的な呼びかけはしないが、依頼があれば感染拡大防止に留意して実施	実施なし	宮城総合支所
3	保育所などと連携した健康教育	乳児の保護者	・保育所地域子育て支援センターとの連携による離乳食講座（調理実習）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催検討		泉区保健福祉センター
4	学齢期健康づくり事業	児童・生徒、保護者	・児童館や小学校・中学校と地域の健康課題を共有し、生活習慣改善に向けた教室等と一緒に企画し実施する。	通年	児童向け：5回延べ267人（小学校2校、児童館3か所）生徒向け：2回延べ148人（中学校1校）保護者向け：2回延べ137人（小学校2校）	宮城野区保健福祉センター
5	学校保健に関する懇談会	小中学校・高校の教職員	・児童・生徒の健康問題や健康教育の取り組みに関する情報交換、連携方法の検討 実施内容変更により食に関する内容なし	年1回	食に関する内容はなし	若林区保健福祉センター
6	地域と共に育む子どもの健康づくり事業	幼児・児童と保護者	・幼児、児童に対して、食生活、歯と口、防煙をパッケージ化した人形劇のDVDを活用し、朝ごはんとおやつについて啓発。1小学校では、授業形式で実施。保護者向けパンフレット配付	随時	7回（児童館3施設、小学校3校、保育園1施設）906名実施	太白区保健福祉センター
7	児童館等における生活習慣病予防事業	児童館を利用する学童	・児童館と連携し、生活習慣病予防のために、啓発媒体の作成や、それに関するイベントと一緒に企画し実施する。	通年	7児童館連携 啓発パネル年間掲示 児童館だより記事掲載 12回 イベント7回 計200名参加	若林区保健福祉センター
8	児童館等と連携した生活習慣病予防事業【新規】	児童館を利用する学童とその保護者	児童館等で飲み物やアイスに含まれる糖分量等の生活習慣病予防啓発パネルを展示 関連資料を配布	通年	4施設	泉区保健福祉センター
9	子どもを対象とした食育事業【新規】	児童館を利用する学童とその保護者	児童館等で学童を対象におやつ選び方についての食育講座を実施 保護者向けに関連資料の配布	冬休み期間	1施設 12月27日18名参加	泉区保健福祉センター
10	学校保健・地域保健懇談会	小・中学校の養護教諭、市民センター社会教育主事	児童・生徒の健康問題や健康教育の取り組みに関する情報交換、連携方法の検討	年2回 ①鶴ヶ谷地区小・中学校対象（8/19） ②区内小・中学校対象（10/13）	①養護教諭3校3名・社会教育主事1名参加 ②養護教諭9校10名参加	宮城野区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-10 食育関係機関、関係者の資質向上とネットワークづくりをすすめます						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会 《①-B-7 再掲》	認可保育所、認定こども園、小規模保育事業施設、認可外保育施設、企業主導型保育実施施設、事業所内保育施設の食育担当者等	・食育に関する講話、事例発表、情報交換等	7月 青葉区・宮総共催 対象：59施設 (内宮総管内14施設)	7月 ハイブリッド方式で実施 32施設33名 (内宮総管内9施設9名) ・オンライン参加 27施設28名 (内宮総管内8施設8名) ・会場参加 5施設5名 (内宮総管内1施設1名)	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	子育てネットワーク会議	保育所、幼稚園、児童館、市民センター、育児サークル、託児ボランティアグループ、社協等	・子育てネットワーク会議の中で食育の情報提供を行う	6/16 3ブロックでの分散開催 話題提供、顔合わせ	6/16 延べ56名参加	宮城総合支所
3	食育推進研修会 《①-B-7 再掲》	小中学校・幼稚園・保育所・児童館等の食育担当者、訪問栄養相談員	・食育や健康づくりに関する講演	年1回	1回 参加33施設	若林区保健福祉センター
4	食育担当者情報交換会 《①-B-7 再掲》	保育所、幼稚園、学校の食育担当者	・事例発表、情報提供、情報交換等の開催	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		太白区保健福祉センター 秋保総合支所
5	学校・保育所・地域栄養連絡会	管内の小・中学校、保育所、支所保健福祉課に勤務する栄養士職	・食育や健康づくりに関する取り組み、給食管理等についての情報交換	7～8月に開催予定	8月開催 6機関参加	秋保総合支所
6	地域子育て交流会	いずみ食育の輪、育児サークル、育児サロン、のびすく泉中央、泉区中央市民センター	・「子育て応援倶楽部いずみん」における食育活動支援と情報提供 いずみおやこフェスティバルにおける食育の情報発信《①-A-2再掲》	イベント実施が困難なため、子育て応援倶楽部いずみん参加団体情報交換会の実施 10月26日	今年度は、食育担当は参加なし	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	若い世代の健康づくり支援事業 《①-A-5 再掲》	専門学校の学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュースレター（NL）とホームページによる健康づくりの普及啓発</li> <li>・学校へ電話や訪問し、健康課題など状況を把握する</li> </ul>	NL：年2回発行 メンタルヘルス勉強会（12月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NL：7月発行、2月発行予定（専門学校23校、関係機関2か所）</li> <li>・電話23校、訪問2校</li> <li>・勉強会11名参加（専門学校6校）</li> </ul>	青葉区保健福祉センター
2	若い世代の健康づくり支援事業 《①-A-5 再掲》	専門学校の学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校を訪問し、健康課題など状況を把握する</li> <li>・リーフレットによる検診と食育の啓発</li> </ul>	対象校(7校)に年4回の啓発物送付のうち2回(6月、11月)について食育の内容を発信	年2回(6月、11月) 7校延べ4,046人に啓発物送付	宮城野区保健福祉センター
3	地域健康教育 (宅配講座)	幼稚園・小・中・高校生及び保護者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等についての講話。</li> </ul>	随時	六郷小 2回 延200名 参加 六郷中 1回 115名 参加	若林区保健福祉センター
4	若い世代の健康づくり支援事業 《①-A-5再掲》	大学生等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東北工業大学の1、2年生を対象に「健康的な食生活、歯と口の健康、防煙」等の内容を盛り込んだ総合的な健康教育の実施。</li> <li>・東北工業大学文化祭にてポスター掲示、資料・レシピ集配布</li> <li>・宮城大学食産業学群校内にモーベジ啓発ポスター掲示</li> </ul>	7月 2回  11月 2日間 11月	1回目70名、2回目100名参加  資料・レシピ22部配布 1回	太白区保健福祉センター
5	若い世代を対象とした食育 《①-A-5 再掲》	大学生等	<ul style="list-style-type: none"> <li>①食育月間に合わせ、食育啓発ポスターを配布。 《①-A-1再掲》</li> <li>②東北生活文化大学との連携により、若い世代向けの啓発媒体を作成し、食育月間等での啓発に活用する。</li> </ul> <p>また、啓発媒体の作成に関わることによる学生の食生活の変化を把握する。</p>	①6月  ②7～10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>①9施設配布</li> <li>②6月の食育月間パネル展で昨年度作成したニュースペーパーの活用、7月28日特別講座実施4年生27名対象</li> <li>1月17日ニュースペーパー発表会4年生27名食生活に関するアンケート実施</li> </ul>	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	働き盛り世代の健康支援事業	児童と保護者	・市民センター、学校との連携による健康教育	12月 1回	木町通市民センター 3組 8名	青葉区保健福祉センター
2	健康情報の提供	タクシー事業者 理美容店 その他の事業者	・職員や顧客向けの健康情報の提供（掲示物等）	栄養関係情報提供2回 （12月・1月）	タクシー業者・理美容店・その他の事業者77か所 （154部）	宮城野区保健福祉センター
3	生活習慣改善に向けた事業	働き盛り世代	・事業所で働く方を対象とした生活習慣改善の出勤講座の実施。 「健康的な食生活、歯と口の健康、防煙」の内容を盛り込み、総合的な健康教育を行う。	10月 1回	35名参加	太白区保健福祉センター
4	健康づくり啓発事業	働き盛り世代	・消防団の集まり、スポーツレクリエーション大会等、地域のイベントにおける情報提供	実施未定	・消防団健康教育 中止 ・地区まつり10月開催 （くらしの保健室として出展）	秋保総合支所
5	生活習慣改善啓発事業	働き盛り世代	①商工会との連携による、地域の事業者及び従業員への啓発 ②働き盛り世代が集まる市民センターや地域のイベント等における啓発活動 ③衛生課との連携による区内事業者への啓発	①健康づくりの啓発ポスターを会報9月号に合わせて送付予定（2000部）。また、会報9月号に特定健診についての啓発記事を掲載予定。 ②随時 ③業種別講習会や理美容講習会での啓発	①健康づくりの啓発ポスターを会報9月号に合わせて送付（2000部）。また、会報9月号に特定健診についての啓発記事を掲載。 ②随時 ③業種別講習会計4回92名 理美容講習会（11/21）66名	泉区保健福祉センター
6	地域健康教育	働き盛り世代	・商工会等団体との連携による、健康教育の実施	随時	事業所への健康教育 1月5日 1施設15名参加	泉区保健福祉センター
7	子育て世代、働き盛りに向けたイベント 《①-A-2、①-B-5に再掲》	児童と保護者	・ララガーデン長町におけるウォーキングクイズラリー 館内に健康クイズを設置し、参加者は、館内を歩きながらクイズに解答。参加者にクイズの解答と健康情報を掲載した資料等を配付	8月 1回	180名参加	太白区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて、生活習慣病予防について学習する機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域健康教育 （出勤健康教育、出勤講座、宅配講座）	一般市民	・町内会、地域事業所等での、生活習慣病予防などをテーマにした健康教育	随時	実施回数：8回 参加延人数：526人 個別相談：3件	各区保健福祉センター 総合支所
2	生活習慣病予防のための健康相談会	一般市民	・イベント形式で血管年齢測定及び体力測定を実施し、状況に合わせ、食生活についてのアドバイスを行う	イベント形式での実施はなし	実施なし	宮城総合支所
3	生活習慣病予防講座 （高森地域連携事業）	高森地区居住者	・高森地域包括支援センター、泉区社協、仙台市健康増進センター、泉区保健福祉センター連携事業 ・R3年度から取り組んでいたウォーキングマップを完成させた。 ・作成したマップを使用し、ウォーキングイベントを実施。ウォーキング中、食生活に関するクイズを実施。	意見交換会を随時開催予定 ウォーキングマップを完成させ、ウォーキングイベントを実施予定。（9/17）	関係機関での打合せ7回 9/17ウォーキングイベント実施 生活習慣病予防の食生活に関する資料を配布 参加者31名（地域のボランティア含む）	泉区保健福祉センター
4	生活習慣病予防講座 （寺岡地域連携事業） 【新規】	寺岡地区居住者	寺岡地域包括支援センターと連携。地区カルテを使用し地域の課題を共有。生活習慣病予防（今後は糖尿病予防）に関する講座を実施。（うち1回は食生活に関する内容、資料配布）	2回（9/28,10/5） 今後も継続	実施回数 2回 参加者 延べ22人	泉区保健福祉センター



具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定保健指導	特定保健指導対象者（積極的支援）	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	8月～	158名	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
2	基礎健診保健指導	基礎健診保健指導対象者	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	9月～	延14件	各区保健福祉センター 総合支所
3	生活習慣病予防教室	HbA1c要指導者	・糖尿病発症予防のための教室を個別相談会形式で実施 ・対象者に啓発資料送付	啓発資料送付 4月（391名） 個別相談会 6月 2回	啓発資料送付（4月） 391名 個別相談会2回（6月） 10名	青葉区保健福祉センター
4	健康づくり相談 基礎健康診査事後指導	健診受診者	・受診後の相談ができる場の提供 ・食習慣改善のための講座実施	年6回実施予定 （7/28、8/25、9/29、 10/27、11/29、3/17）	健康相談 5名 基礎事後相談 1名	宮城総合支所
5	生活習慣病予防講座 （健康づくり講座）	特定健診要指導者（HbA1c）・重点地区特定健診要指導者（血圧）対象者	・生活習慣病予防のための講話 9月 医師・栄養講話（東中田市民センター会場） 1月～2月 医師・栄養・歯科・運動講話（区役所会場） ・生活習慣病発症予防のため血糖（HbA1c）が高めの方を対象として個別相談	・重点地区9月 1回 ・特定健診要指導者1月～2月1クール2回実施 個別相談月1回開設	20名参加 延べ22名参加  4回（5月、11月、12月、3月）6名参加	太白区保健福祉センター
6	あおば健康づくり講座	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談	講座4回（8・10・12・3月） 相談12回	講座4回（8・10・12・3月） 39名 相談12回 14名	青葉区保健福祉センター
7	健康づくり相談	一般市民	・健康づくりのための食生活相談	月1回（10・12・1月は月2回） 年間15回	8件	宮城野区保健福祉センター
8	健康生活講座	一般市民	・健康づくりのための食生活講話、演習	①11月2日 ②1月25日	①高血圧予防の食事について（4回コースの講座のうち2回目の講座）17名参加 ②骨粗鬆症検診受診者のうち要指導該当の方5名参加	宮城野区保健福祉センター
9	健康づくり講座、相談	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と食生活に関する個別相談	講座3回、相談10回	講座 3回 延16名 相談 10回 延17名	若林区保健福祉センター
10	生活習慣改善相談	一般市民	・予約制の個別健康相談	個別相談 月1回開設	29名参加	太白区保健福祉センター
11	健康づくり相談	一般市民	・個別相談と講話による食生活や生活習慣改善のための支援	個別相談 月1回開設 栄養についての講話 1回	個別相談17件 栄養についての講話1回	泉区保健福祉センター
12	食生活・栄養相談	一般市民	・訪問、電話、来所による栄養相談	通年	訪問相談：3件 電話、来所での相談：延63件	各区保健福祉センター 総合支所

令和4年度 食育推進事業実施状況（令和5年3月末現在）

仙台市健康福祉局

13	被災者の食生活支援	仮設住宅等入居者 →復興公営住宅等入居者	・復興公営住宅集会所、中核支えあいセンター等での食生活相談 ・地域被災者健康相談等での講話、食生活相談 ・訪問、電話、来所による食生活・栄養相談	随時	講話・相談会：開催なし 個別相談：0件	各区保健福祉センター 総合支所
14	生活習慣改善講座	健診結果で要指導の項目があった者等	・HbA1c要指導判定の者等を対象とした生活習慣病予防のための講座	調整中	個別相談に切り替えて実施 （健診事後指導会場での相談会：4件、他くらしの保健室内での相談）	秋保総合支所
15	健康相談会	ララガーデン長町来場者	・ララガーデン長町を会場とした個別健康相談	予定が合わず未実施		太白区保健福祉センター
16	秋保くらしの保健室【新規】	一般市民	乳幼児から高齢者まで幅広い層を対象とした、生活全般についての相談会（包括支援センター、市民センター共催）	年3回程度	10回開催 145名来所 個別相談61件（うち栄養52件）	秋保総合支所

取り組みの方向性①-E 高齢者の健康を支える食生活について、啓発と支援をすすめます

具体的な取り組み ①-E-1 高齢者のフレイル、低栄養予防についての知識を普及し、食生活の改善を支援します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	高齢者の食生活に関する地域健康教育	一般市民（高齢者やその家族）	・町内会、老人クラブ、地区社会福祉協議会のサロン等を対象とした、高齢者の栄養に関する健康教育	随時	開催回数：13回 参加者数：延212名	各区保健福祉センター 総合支所
2	食生活・栄養相談（65歳以上）	一般市民	・訪問、電話、来所による栄養相談	通年	訪問相談：4件 電話、来所での相談：延40件	各区保健福祉センター 総合支所
3	食生活改善推進員会における研修 《①-A-4の一部再掲》	宮城食生活改善推進員会	・食生活改善推進員会の研修会でフレイルや低栄養予防についての講話を行い、推進員を通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。 ・今年度は歯と口の健康づくりをテーマとした講話を実施	12/1の学習会でフレイルについて講話予定	地区研修会 12/1 16名参加	宮城総合支所
4	介護予防サポーター事業における健康教育	介護予防運動サポーター	・介護予防運動サポータースキルアップ研修会等で、必要に応じ健康的な食生活について支援実施 ・サポーターを通じた地域の高齢者への普及啓発を図る。	宮総 調整中 宮城野 9月13日、15日、20日、21日、22日 若林 6月3日 秋保 10月実施 泉 5月31日、6月3日、6月6日、6月14日	宮総：実施なし 宮城野：延べ104名参加 若林：6月3日 12名参加 秋保：10月1回15名参加 泉：フレイル予防についての栄養講話 全4回 125名参加	宮城野区保健福祉センター 若林区保健福祉センター 泉区保健福祉センター 宮城総合支所 秋保総合支所
5	健康づくり情報提供	一般市民（高齢者やその家族） 高齢者やその家族	・窓口来所者やサロン参加者等へ、フレイルや高齢者の栄養に関する資料を配布し、情報提供する	随時	新型コロナウイルスワクチン接種会場にて掲示・資料設置	秋保総合支所
6	秋保くらしの保健室【新規】	一般市民	乳幼児から高齢者まで幅広い層を対象とした、生活全般についての相談会（包括支援センター、市民センター共催）	年3回程度	10回開催 145名来所 個別相談61件（うち栄養52件）	秋保総合支所

取り組みの方向性 ①-F 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります						
具体的な取り組み ①-F-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	各区ホームページの食育のページでの情報提供 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	通年	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
2	健康づくり情報コーナーの設置 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイド、健康づくりサポート店、生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	庁舎内に設置 随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
3	区民まつりや地域のまつり、イベントでの啓発普及	一般市民	・健康づくりブースでの啓発普及 ・食事バランスガイドの紹介、活用方法の普及など ・クイズや演習など、媒体を活用した展示等	通年	回数：11回 資料配布枚数延べ746枚	各区保健福祉センター 総合支所
4	健康増進普及月間事業	一般市民	・健康づくりに関する講演会 ・市政だより、ホームページ、庁内放送、パネル展、資料配布等による普及啓発 ・商業施設内で関連イベントを実施（泉区）	9月 パネル展、イベント等の実施	イベント（パネル展等）：8回 レシピ・啓発資料配布等： 延べ2212枚  講演会等：1回 参加者：210名	各区保健福祉センター 総合支所
5	常備菜レシピ作成事業	幼児から高齢者	・市民協働で作成した、常備菜レシピ集を使用したバランスの良い食事摂取についての普及啓発。 ・市民センター共催の講座にてレシピの普及啓発。 ・依頼のあった団体に向けて、健康教室を実施（随時） ・HP掲載 ・管内専門学校への普及啓発 ・当該事業（あおば健康づくり講座、母親教室）にて、講座や講話を実施	市民センター共催：1回 当該事業内：7回	市民センター共催：2回 9名 当該事業内：7回 68名	青葉区保健福祉センター
6	被災者向け健康情報紙の発行	復興公営住宅居住者等	・栄養・健康情報、レシピなどを掲載した被災者向け健康情報紙を作成し、復興公営住宅等に配布する	宮城野 年1回7月発行 太白 年1回8月発行	1685部配布 511部配布	宮城野区保健福祉センター 太白区保健福祉センター
7	フェイスブックおよびInstagramによる健康情報の発信 《①-A-1 再掲》	一般市民	・健康政策課フェイスブックページ「仙台伊達なキッチン-だてきち」で、食を中心とした健康情報や簡単レシピなどを発信する。令和4年度よりInstagramも開始。	毎週水曜日に記事を配信 その他イベント等に合わせて情報を随時配信	フェイスブック 記事掲載数36回 Instagram 記事掲載数27回	健康福祉局
8	健康お役立ちレシピコンテスト	一般市民 市内学生	・市民（または市内に通学する学生）が考える健康を意識したレシピを募集する。 ・健康政策課フェイスブックおよびInstagramと連動し、レシピを発信する。	9月以降実施予定	今年度実施未定	健康福祉局
9	出張！健康情報お届け隊	一般市民	・宮城野区中央市民センターと連携し、市民センターを会場に生活習慣病予防・健康づくりなどについてのパネル展・資料配布を実施する。	年2回（6月、9月）	2回実施 6月：6/4～6/30 9月：9/1～10/4	宮城野区保健福祉センター
10	秋保くらしの保健室【新規】	一般市民	乳幼児から高齢者まで幅広い層を対象とした、生活全般についての相談会（包括支援センター、市民センター共催）	年3回程度	10回開催 145名来所 個別相談61件（うち栄養52件）	秋保総合支所
11	動画による情報発信 《①-A-1 再掲》	乳幼児とその親	①BCG接種来所者に向けて離乳食開始～1か月頃の進め方についての動画放映 ②1歳6か月児健診・3歳児健診来所者に向けて幼児期の肥満と生活習慣についての動画放映	①通年 ②3月末より	①年5回 ②年2回	宮城野区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-F-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食で健康サポート店推進事業	一般飲食店、給食施設、食料品等販売店 一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養成分表示、バランスメニュー、野菜たっぷりのメニュー、塩エコ（塩分控えめ）メニューのいずれかを提供する店舗（食で健康サポート店）の登録を推進</li> <li>登録店舗向けに、健康情報を発信</li> <li>市政だよりにて食で健康サポート店を市民に周知、栄養成分表示等の活用方法などを啓発（泉）</li> <li>庁舎内デジタルサイネージを利用し市民へ周知、登録店の紹介（青葉）</li> </ul>	通年  3月（泉） 3月・4月（青葉）	登録店舗数：82店舗 PR件数：1件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
2	「モーベジ！」を活用した啓発 《①-B-2に再掲》	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育推進事業の標語「モーベジ！」を活用し、朝食と野菜摂取を各種事業（幼児健診、離乳食教室、関係機関との連携事業等）で啓発モーベジスタートガイド、モーベジレシピ配布（HPでも公開）</li> <li>ララガーデン長町飲食店と連携した食情報発信</li> <li>ララガーデン長町における秋保ビレッジマルシェにてモーベジポスター掲示、レシピ配布</li> </ul>	通年 予定が合わず未実施 6月2回、3月1回	モーベジスタートガイド2748部、モーベジレシピ228部配布  モーベジレシピ300部配付	太白区保健福祉センター
3	六郷地区健康づくり事業	一般市民	生活習慣病予防の食生活に関する啓発、レシピ配架等	通年	モリヤ今泉店にて特設コーナーで減塩の啓発（6-7月） レシピ等配架 延1350部	若林区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-H 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-H-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	子供の食育講座	乳幼児 小学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童館・児童センターと共催により、調理等の体験型の講座を通して、食事の大切さ、食べる楽しさを学ぶ（泉食生活改善推進委員会連携事業として実施予定）。</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催検討中		泉区保健福祉センター

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育月間、みやぎ地区まつりでの紹介	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の食材を使用した料理の紹介</li> <li>レシピ配布</li> </ul>	月間中の健康教育実施	月間中の健康教育（他分野）で啓発グッズ配布14 みやぎ地区まつり 啓発資料307部	宮城総合支所
2	子育てについてのイベントでの情報発信	子育て中の保護者とその子ども	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いずみおやこフェスティバル」における食育の情報発信《①-A-2再掲》</li> <li>郷土料理、手作りおやつ紹介等</li> </ul>	イベント実施が困難なため、子育て応援倶楽部いずみ参加団体情報交換会の実施 10月26日	今年度は、食育担当は参加なし	泉区保健福祉センター
3	せんだいTube、太白区チャンネルの情報発信《①-A-1再掲》 【新規】	子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の食材を使用した地元料理紹介動画をせんだいTube、太白区チャンネルで発信</li> </ul>	通年	視聴回数せんだいTube578回 太白区チャンネル127回	太白区保健福祉センター

推進の柱⑤ 食品を選ぶ確かな目を持つ

取り組みの方向性 ⑤-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ⑤-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	通年	農畜水産物について、111件実施済	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発	一般市民、食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	パンフレット：3675部 食の情報館：4000部	健康福祉局 各区保健福祉センター 宮城総合支所
3	ホームページによる食品衛生情報の提供	一般市民、食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
4	食品の安全性に関する講演会の開催	一般市民	・食品の安全性に関する講演会の開催	令和5年1月開催予定	令和5年2月17日オンライン、会場集合型併用開催、116名参加	健康福祉局 各区保健福祉センター
5	食品の安全性に関する講習会の実施	一般市民	・市政出前講座（担当テーマ：安全・安心の食生活）における食品衛生情報の提供 ・市民向け食品衛生講習会の実施	申し込みの都度	市政出前講座：依頼なし 市民向け講習会：23回、402名	健康福祉局 各区保健福祉センター
6	食品の安全性等に関する相談対応	一般市民	・食品の安全性や表示等に関する電話相談、問い合わせ等への対応	随時対応	随時対応	健康福祉局 各区保健福祉センター
7	せんだい食の安全サポーター制度	せんだい食の安全サポーター	・せんだい食の安全サポーター会議における食品衛生情報の提供	年4回活動予定（開催形式未定）	4回実施済（書面形式）	健康福祉局 各区保健福祉センター
		せんだい食の安全情報アドバイザー	・食肉まつり等における食品衛生普及啓発活動	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食肉まつり中止 移動研修を令和4年10月実施予定	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食肉まつり及び移動研修について、中止	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ⑤-A-2 食品の安全性確保のための監視指導を行います

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食施設巡回指導	特定給食施設 条例に基づく給食施設	・健康増進法に基づく特定給食施設、条例に基づくその他の給食施設に対する、栄養管理、衛生管理指導	通年	通年	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品衛生監視指導計画の策定と実施	食品等事業者	・食品衛生監視指導計画に基づく食品等営業施設の監視指導の実施	通年	32442件	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ⑤-A-3 食品関係営業者に向けて食品の安全性に関する情報を発信します						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページによる食品衛生情報の提供《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	ファクシミリ等による食品衛生情報の提供	食品等事業者	・ファクシミリ等による食品衛生情報の提供	随時実施	FAX情報便：115回、6511件	健康福祉局 各区保健福祉センター
3	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	パンフレット：3675部 食の情報館：4000部	健康福祉局 各区保健福祉センター
具体的な取り組み ⑤-A-4 食品関係営業者を対象に食品の安全性に関する講習を行います						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品等事業者に対する衛生講習会の実施	食品等事業者	・食品等事業者等に対する衛生講習会の実施	随時実施	業種別講習会：43回、1076人 食品衛生責任者講習会：23回、2157人	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品等事業者経営者セミナーの開催	食品等事業者	・食品等事業者経営者セミナーの開催	令和4年9月実施予定	令和4年10月実施済	健康福祉局 各区保健福祉センター
取り組みの方向性 ⑤-B 食品表示の知識を普及し、食品の選択への活用をすすめます						
具体的な取り組み ⑤-B-1 食品表示の知識を広く発信し、活用法を知る機会をつくります						
	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品表示の知識普及、活用の推進	一般市民	・健康教育、食育講座および健康づくりや食育に関するイベント等において食品表示について知識の普及啓発の実施	通年	出前講座、宅配講座等での啓発6回 参加者数151名  イベント(パネル展等)でのチラシ配布 2023部	健康福祉局 各区保健福祉センター